

TEPRA

PRO

SR130

取扱説明書



 **KING JIM**

●はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR130をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テブラ」PRO SR130の使いかたを説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR130を本書とともに未永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。
なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

●注意!

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「テブラ」で得られるラベルについて
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
なお、これらによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。




「キングジム」、KING JIM、「テブラ」、「テブラ」PRO、Pテープマークはいずれも株式会社キングジムの商標です。

●安全上のご注意…必ずお守りください！




お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。


 危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。


- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	Ⓢ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 危険


電池の取り扱いについて


 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。





⚠ 警告


ACアダプタについて


 同梱の専用ACアダプタ(AC0615J)以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



 ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



 ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせしないでください。火災・感電の原因となります。



警告

電池の取り扱いについて



電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



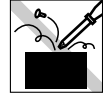
⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



⚠ 注意

電池の取り扱いについて



電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



オートカッターについて



印刷中もしくはオートカッター作動中にテープ取出し口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをすることがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑性入り材料など被着体の材質、環境条件、貼付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



■テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



■テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。

印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース(再利用)について

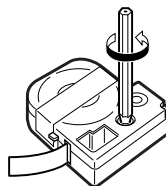
当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。なお、「エコマーク商品」(ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ)については、当社にてリユース(再利用)をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。



テープカートリッジをセットするときの注意事項

① インクリボンのたるみをとる

セットするテープカートリッジのインクリボンにたるみがあるときは、テープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻き、必ずたるみを取ってください。



注意!

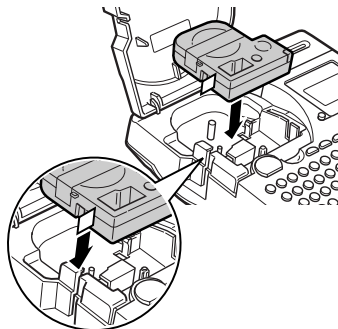
インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。必ずインクリボンのたるみを取ってから本機にセットしてください。

② テープカートリッジを本機にセットする

ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと差し込みます。

正しくセットすると、本機のフックによりテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。



●注意!

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。必ず本機にテープカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。

③ 電源を入れたら、必ず「テープ送り」をする (シフト) + ^{テープ送り}印刷

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」(「カット有」または「カット無」)をおこなってください。
参照 P.25 「5.テープ送りをする」

●注意!

「テープ送り」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。テープカートリッジを本機にセットしたら、必ず、「テープ送り」をおこなってください。

その他のご注意

- 本機のご使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ取出し口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- 印刷ヘッドには、絶対到手を触れないでください。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに印刷を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず (シフト) + 印刷でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ取出し口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。ただし、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータを保存しておきたいときは、電池(別売)を正しくセットしたまま保管することをおすすめします。約4分以上本機に電源が供給されないと、データがすべて失われることがあります。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

●本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

使いかた編は1～2まであります。いろいろな機能を段階的に使いこなしていただけるように、簡単なものから次第に高度なものへと並べてあります。








「使いかた編1」では、本機の基本的な操作を説明しています。初めて「テブラ」PROシリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお奨めします。

活用編

本機をさらに使いこなしていただくための情報です。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえでお読みくださるようお願いします。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
	操作の手順を示しています。
	文字ボタンを示しています。
	機能ボタンを示しています。
	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
	関連する事項の参照ページを案内します。
	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

●注意！●

ラベル見本について

本書で使用しているラベル見本は本機で印刷したのですが、表示エリアの都合上、縮小や余白の調整をしているため、テープ幅、文字サイズ、余白などは実際と異なります。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
- 本書の使いかた 6
- 目次 7
- 同梱品の確認 8
- 別売品のご案内 9
- 「テブラ」PRO SR130の特長 10
- まず、使ってみよう…
 - すぐ使いたい人のために 11
 - まず、準備をしましょう 11
 - 名前ラベルを作ってみよう 12
 - 「たて書き」でラベルを作ってみよう 13
 - 「文字サイズ」を変えて
ラベルを作ってみよう 14

準備編

- 各部の名前とはたらき 16
- 使う前の準備 20
 - 1. ACアダプタを接続する 20
 - 2. 電池（別売）を入れて使用するときは 20
 - 3. テープカートリッジをセットする 22
 - 4. 電源を入れる 24
 - 5. テープ送りをする 25
 - 6. ラベルを作る 25
- 使い終わったら（電源を切る） 26

使いかた編 1

- 手順どおりに作ってみよう
（文字入力～ラベルの完成まで） 28
 - 1. ひらがな・カタカナを入力する 29
 - 2. 濁音や小文字を入力する 30
 - 3. 漢字を入力する 31
 - 4. 英数字や「！」などを入力する 32
 - 5. スペースを入力する 34
 - 6. 記号を入力する 35
 - 7. 印刷イメージを確認する
（プレビュー） 36
 - 8. 印刷する 37
 - 9. ラベルを貼る 38
- 印刷時の自動カットをやめる 39
- 文章を編集する 40
 - カーソルボタンの使いかた 40
 - 文字を削除 / 挿入する 41

- すべての文章を消去する 41
- 行を増やす（改行） 42
 - 新しい行を作る 43
 - 1行の文章を2行に変更する 44
 - 2行の文章を1行に変更する 44
- 文字サイズを変更する 45
- よこ書き・たて書きを切り換える 46
- たて書きで2桁の数字のラベルを作る 47

使いかた編 2

- 編集機能を使いこなす 50
 - メニュー一覧 50
 - 編集を指定する 55
- 決まった長さのラベルを作る（定長印刷） 57

活用編 ～まだあるこんな機能～

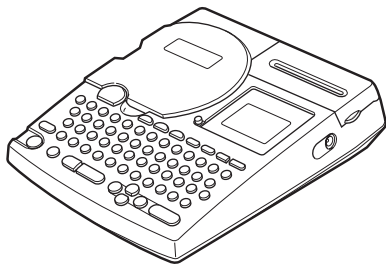
- 文章をファイルする 60
- ファイルを呼び出す 61
- ファイルを入れ換える 62
- 読みのわからない漢字を入力する
（コード入力） 63
- 環境設定を変更する 64
 - メニュー一覧 64
- 印刷の濃度を調整する（印刷濃度） 65
- ディスプレイの濃度を調整する（表示濃度） 65
- 各種の初期値（保存値）を変更する 66
- デモ印刷をする 68
- 本機を初期化する 70

付録

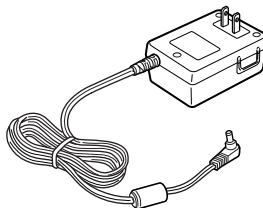
- テープカートリッジを使いわける 72
- こんな表示が出たときは 73
- 故障かな？と思ったら 74
- お手入れについて 77
- 入力文字一覧表 78
- 漢字変換表 79
- 記号一覧表 85
- 外枠一覧表 89
- ローマ字変換表 90
- おもな仕様 91
- 索引 93
- アフターサービスについて 97

●同梱品の確認

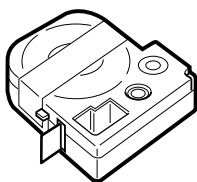
同梱品はすべて揃っていますか？ 梱包を開けたら、まず確認してください。



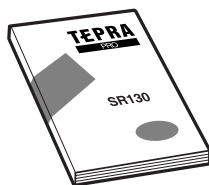
「テプラ」SR130本機



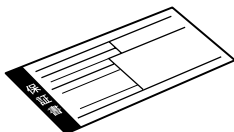
ACアダプタ(AC0615)



PROテープカートリッジ
(12mm幅 1本)



SR130取扱説明書(本書)



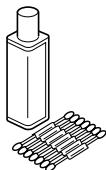
保証書

●MEMO●

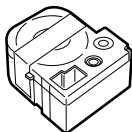
本機には、電池は同梱しておりません。単3アルカリ乾電池(6本)をお買い求めください。

●別売品のご案内

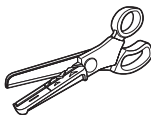
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。
詳細については、当社ホームページ(アドレス<http://www.kingjim.co.jp/>)をご覧くださいか、またはお買い上げの販売店、「テブラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照 P.97 「アフターサービスについて」



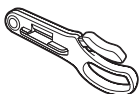
ヘッド・クリーニングキット(RC15)
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



ヘッド・クリーニングテープ(SR18C)
印刷ヘッドをクリーニングするテープカートリッジです。約120回のクリーニングが可能です。



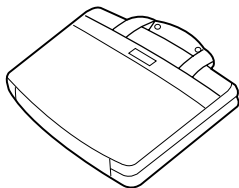
トリマー (RT36W)
ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。ラベルの前後余白調整にも便利です。



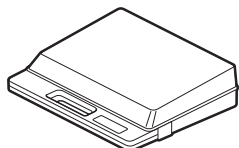
ハーフカッター (RH24)
ラベルにスリットを入れ、裏紙を簡単にはがすためのハーフカッターです。



ラベルラミネーター (RL18)
9mm～18mm幅のラベルをセットしてフィルムを引き出すと、ラベルの表面に透明のラミネートを施すことができます。
表面を保護し、薬品、油、こすれなどからラベルを守ります。
※4mm幅、6mm幅のテープには対応していません。



システムバッグ(SR8B)
「テブラ」PRO 本体とテープカートリッジ、ACアダプタ、取扱説明書などが収納可能です。素材にウレタン・ボンディング・ナイロンを使用していますので、クッション性に優れています。



システムトランク(SR9BTN)
耐衝撃性に優れたトランクです。「テブラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。

●「テプラ」 PRO SR130の特長

■ 極細4mm幅テープも！

5種類のテープ幅に対応！

細かい表示に適した極細4mm幅テープから、ピデオテープのタイトルラベルに最適な18mm幅テープまで、4/6/9/12/18mmの5種類のテープ幅に対応！幅広い用途で大活躍します。

※12mm幅テープと18mm幅テープに印刷できる最大文字サイズは同じです。

■ 和文2書体+英数3書体を内蔵！

基本書体の明朝体・ゴシック体に加え、英数書体のBR体を搭載。

飾り字と合わせて、ラベルを表現豊かに演出できます。

明朝&Gothic
BR体

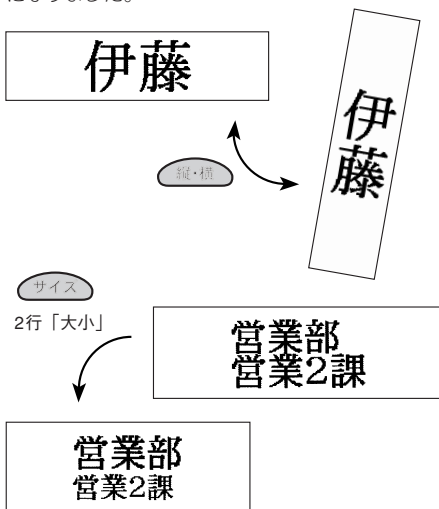
■ 記号や外枠・表組みを豊富に搭載！

公共・注意表示や、環境記号・貨物のケアマークなど、便利な記号を豊富に搭載！ラベルを演出する外枠75種類・表組み4種類も搭載しています。



■ 縦・横 サイズ ボタンで指定が簡単！

よく使う「たて書き」「よこ書き」の切り換えや「文字サイズ」の指定が、専用ボタン **縦・横** **サイズ** になりました。



■ 一発！簡単！ 複製 ボタン！

書体や飾り字、外枠などの指定を **複製** ボタン一つにまとめました。

■ 「オートカッター」でカットの手間いらず！

オートカッター搭載なので、印刷後のカット操作が不要です。

※一部対応できないテープがあります。


■ ラベルケースを装備！



作成したラベルの一時保管に便利な「ラベルケース」を装備！よく使うラベルをストックしておけば、すぐに取り出せます。

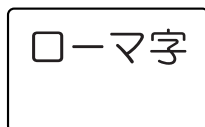
●まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために





まず、準備をしましょう

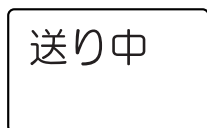
1 ACアダプタを本機に接続する
参照  P.20 「1.ACアダプタを接続する」

2 テープカートリッジをセットする
参照  P.22 「3. テープカートリッジをセットする」

3  を押す
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク **1** とカーソルが表示されます。
参照  P.24 「4.電源を入れる」



4 テープ送りをする
 を押しながら  を押し、表示されるメニューから「カット有」または「カット無」を選び  を押します。
参照  P.25 「5. テープ送りをする」



●MEMO●

必ず「テープ送り」を！

テープカートリッジ装着後は、テープ、インクリボンのたるみをとるために、必ず「テープ送り」をおこなってください。

名前ラベルを作ってみよう

参照 P.31 「3. 漢字を入力する」

例：

伊藤

- 1 ● を数回押して「ローマ字」または「かな」を選ぶ

ローマ字

- 2 文字ボタンを次のように押す

「ローマ字入力」の場合： (I) (R) (S) (U)

「かな入力」の場合： (E) (S) (4)

ネガ文字で「いとう」と表示されます。

いとう

- 3 変換スペース を押す

「いとう」という読みの漢字候補が点滅表示されます。

いとう
伊東

- 4 「伊藤」が表示されるまで 変換スペース または (←) (↑) (↓) (→) を押す

いとう
伊藤

- 5 選択実行 を押す

「伊藤」が確定します。

1 伊藤

- 6 ● を押す

印刷のイメージが流れるように表示されます(プレビュー)。ディスプレイの左側には印刷されるラベルの長さが表示されます。

参照 P.36 「7. 印刷イメージを確認する(プレビュー)」

X.X cm 伊藤

- 7 印刷 を押す

印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了するとテープが自動カットされて出てきます。

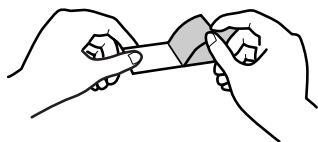
参照 P.37 「8. 印刷する」

X.Xcm
1枚

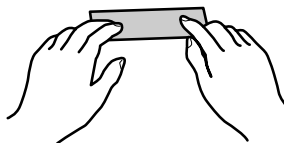
注意!

- テープは絶対に手で引っ張らないでください。
- カッターの刃の磨耗を防ぐため、反射ラベル・アイロンラベル・夜光ラベル・透明つや消しラベル・マグネットテープは「自動カット」を「しない」で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して市販のハサミでまっすぐにカットしてください。そのとき、テープ出口から3mm程度残してください。
参照 P.39 「印刷時の自動カットをやめる」
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。

- 8 ラベルの裏紙をはがす
参照 P.38 「9.ラベルを貼る」



- 9 しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

「テブラ」PROには、接着ラベル以外にも用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照 P.72 「テープカートリッジを使いわける」

「たて書き」でラベルを作ってみよう

参照 P.46 「よこ書き・たて書きを切り換える」

例：

伊藤



伊藤

- 1 **縦・横** を押し「たて書き」を表示させる
「たて書き」が指定され、たて書インジケータが点灯します。

たて書き

- 2 **印刷** を押し
「たて書き」のラベルが印刷されます。

注意!

テキスト画面はよこ書きで表示されます。「たて書き」を指定した場合は、プレビューで確認してください。

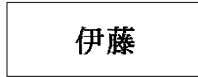
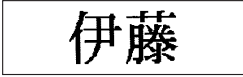
次へ進みます



「文字サイズ」を変えてラベルを作ってみよう

参照 P.45 「文字サイズを変更する」

例：



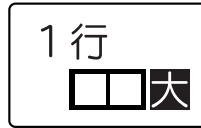
- 1** **サイズ** を押す
「サイズ」が表示されます。



- 2** **← ↑ ↓ →** を数回押して「1行」を表示させる



- 3** **選択 1行** を押す
「1行」「大」が表示されます。



- 4** **← ↑ ↓ →** を数回押して「小」を表示させる



- 5** **選択 1行** を押す
文字サイズが指定されます。
文字サイズはインジケータで確認できます。

- 6** **印刷** を押す
小さくなった文字サイズで印刷されます。

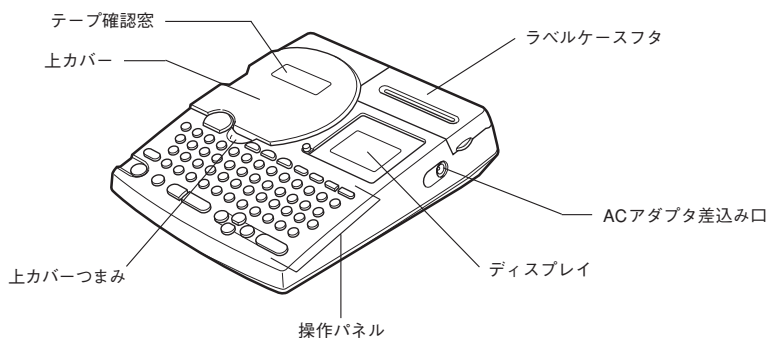
準備編

本機にACアダプタを装着し、電源を入れます。
テープカートリッジのセット方法についても説明しています。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

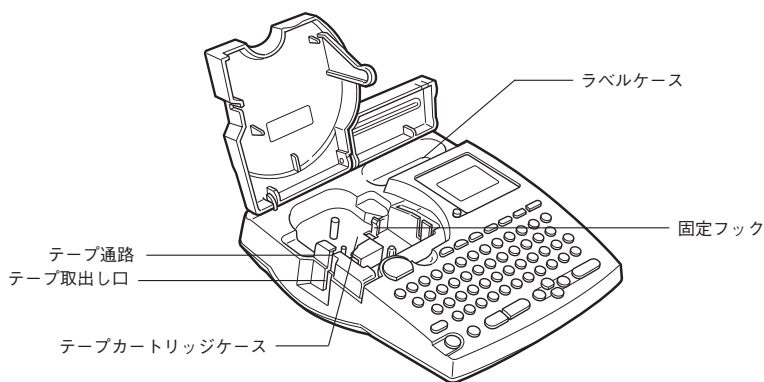


●各部の名前とはたらき

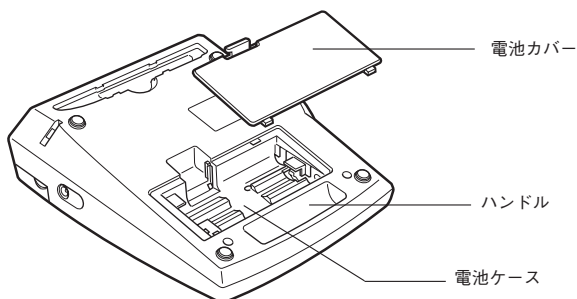
本機各部の名前(表)



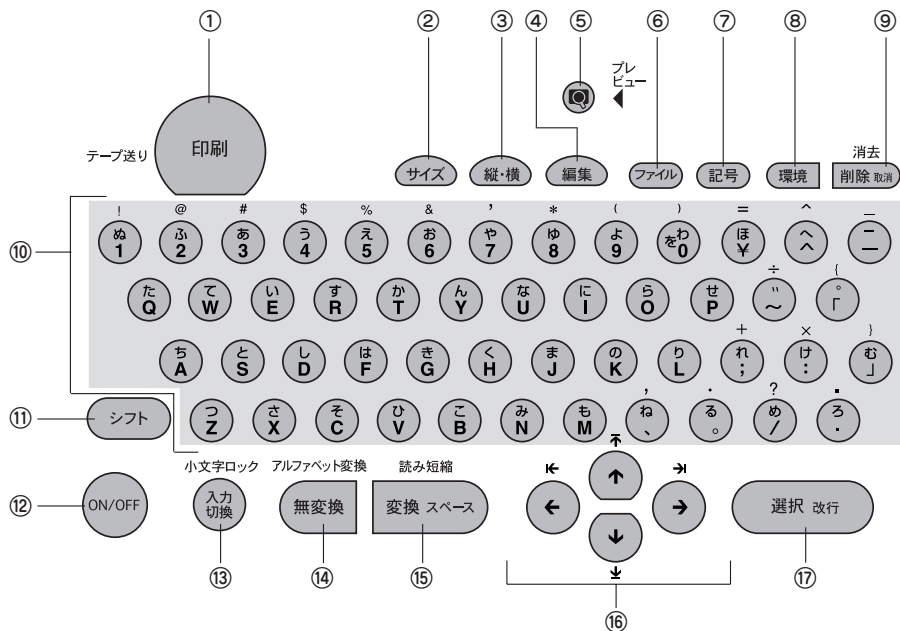
本機各部の名前(表・中)



本機各部の名前(裏)



操作パネルの名前とはたらき



- ① **印刷**
 入力した文章をテープに印刷し、テープを自動的にカット(オートカット)します。
 $\text{シフト} + \text{印刷} = \text{テープ送り}$
 「カット有」の場合はテープを約18mm空送りしたあとカットします。「カット無」の場合はテープを約18mm空送りします。
- ② **サイズ**
 文字の大きさを指定します。参照 P.45
- ③ **縦・横**
 よこ書き/たて書きを指定します。参照 P.46
- ④ **編集**
 書体、飾り字、枠・表、文字間、割付け、定長、余白、鏡文字を指定します。参照 P.50
- ⑤ **プレビュー**
 印刷イメージ全体を流れるように表示します。
 参照 P.36

- ⑥ **ファイル**
 ファイル登録や呼出し、入力文章とファイルの入換えをおこないます。参照 P.60
- ⑦ **記号**
 記号の入力をおこないます。参照 P.35
- ⑧ **環境**
 ディスプレイ濃度や印刷濃度、各種保存値の変更をおこないます。参照 P.64
- ⑨ **削除**
 カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作の取り消しボタンとして働きます。参照 P.41
 $\text{シフト} + \text{削除} = \text{消去}$
 文章の消去をおこないます。

⑩ 文字ボタン(T E P R A など)

文字を入力します。参照 P.29

⑪ シフト

他の機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力します。参照 P.30

⑫ ON/OFF

電源をON/OFFします。

⑬ 入力切替

入力状態をローマ字→かな→ABCの順で切り換えます。参照 P.29

シフト +  =小文字ロック


小文字入力状態に切り換えます。

⑭ 無変換

ネガ文字があるとき、ローマ字入力では、押すたびにひらがな→カタカナ→アルファベットに変換します。

かな入力では、押すたびにひらがな→カタカナに変換します。参照 P.29

漢字変換や機能選択時は、1つ前の選択肢を表示します。参照 P.31

シフト + 

=アルファベット変換/コード変換

ネガ文字があるとき、ローマ字入力では、押すたびにアルファベット→ひらがな→カタカナに変換します。

かな入力では、押すたびにカタカナ→ひらがなに変換します。参照 P.32

ネガ文字がないときは、区点コードを入力すれば漢字に変換できます。参照 P.63

⑮ 変換スペース

ネガ表示されたひらがな文字を漢字に変換します。英数記号はそのまま変換します。

参照 P.31


ネガ文字がないときは、スペースを入力します。参照 P.34

漢字変換や機能選択時は、次の選択肢を表示します。参照 P.31

シフト +  =読み短縮

漢字変換中、変換対象となる「読み」を短縮します。

参照 P.31

⑯  (カーソルボタン)

カーソルを上下左右に移動します。漢字変換や機能選択時は、前後の候補を表示します。

参照 P.40

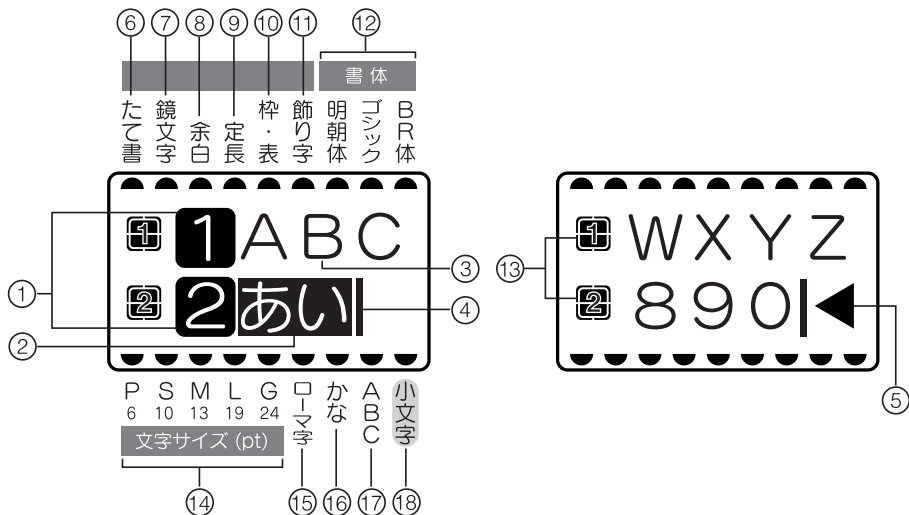
シフト + 

カーソルを行頭、文章先頭、文章末尾、行末に移動します。漢字変換や機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。

⑰ 選択行

漢字変換や機能選択時に表示中の選択肢を選択します。ネガ文字がないときは、新しい行を作ります(改行)。参照 P.31,43

ディスプレイ(画面)の見かた



- ① **行頭マーク(1 2 ☒)**
行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。
1、**2**は印刷できる行を表しています。**☒**は印刷できない行を表しています。このマークが表示されているときは、印刷できません(4mm幅テープの場合は、**2**が表示されているときも印刷できません)。
- ② **ネガ文字(例: あい)**
仮確定の文字で、漢字やカタカナ、アルファベットなどに変換できます。ネガ表示の文字は印刷できません。
- ③ **ボジ表示(例: ABC)**
入力が確定した文字で、印刷することができます。
- ④ **カーソル(|)**
この位置の前(左)に表示された文字が削除の処理の対象になります。新しく文字を入力したり文中で挿入すると、この位置に文字が入ります。
- ⑤ **フルメモリーマーク(◀)**
これ以上文字が入力できないときに表示されます。なお、入力できる文字数は約60文字です。
- ⑥ **たて書インジケーター**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑦ **鏡文字インジケーター**
「鏡文字」が指定されているときに点灯します。
- ⑧ **余白インジケーター**
「余白」「あり」が指定されているときに点灯します。
- ⑨ **定長インジケーター**
定長印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑩ **枠・表インジケーター**
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
- ⑪ **飾り字インジケーター**
飾り字が指定されているときに点灯します。
- ⑫ **書体インジケーター(明朝体・ゴシック・BR体)**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。
- ⑬ **行表示インジケーター**
文字が入力されている行が点灯し、カーソルのある行が点滅します。
- ⑭ **文字サイズインジケーター**
カーソルのある行の文字サイズに対応したインジケーターが点灯します。
下の行の数字はポイント数を表しています。
*1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
- ⑮ **ろま字インジケーター**
ろま字入力状態のときに点灯します。
- ⑯ **かなインジケーター**
かな入力状態のときに点灯します。
- ⑰ **ABCインジケーター**
ABC入力状態のときに点灯します。
- ⑱ **小文字インジケーター**
小文字入力状態のときに点灯します。

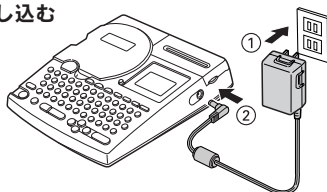
●使う前の準備

1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ(AC0615J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

① ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む

② ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む



●注意!●

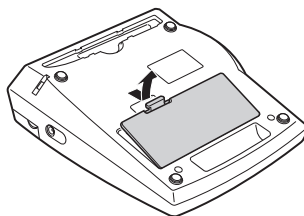
- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能が動きACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池(別売)を入れて使用するときは

本機に単3アルカリ乾電池6本(別売)をセットします。電池は、登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときに電源とすることができます。また、外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

① 電池カバーをはずす

レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

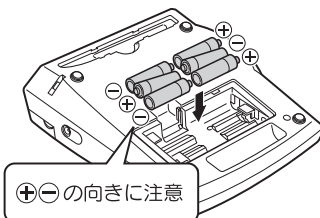


●注意!●

必ず、電源を切ってからおこなってください。

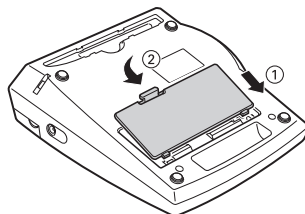
2 電池を入れる

電池の向きに注意して、単3アルカリ乾電池6本を入れます。



3 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の突起を本機のカバーの溝に合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。



● 注意! ●

- 本機では、アルカリ乾電池をお使いください。オキシライド乾電池は初期電圧が高いため、製品の動作が不安定になることがあります。故障の原因となりますので使用しないでください。
- 本機にセットする電池(別売)は、登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときに電源とすることができます。電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ(AC0615J)をお使いください。
- 電池交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。また、本機から電池をはずし、約4分以上放置すると、データがすべて失われることがあります。
- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池(別売)を本機に正しくセットして使用・保管することをおすすめします。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電池を交換!」と点滅表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池(6本)に交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。

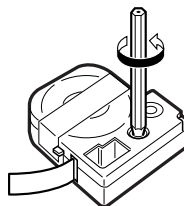
● MEMO ●

新品の単3アルカリ乾電池(6本)(別売)では、常温で18mm幅のテープカートリッジ(8m)を1本は印刷できます。しかし、温度の低いところで使用したり、大きな文字ばかりを印刷したりすると、電池が早く消耗します。できるだけACアダプタをお使いください。ACアダプタを使用する際は、必ず専用のACアダプタ(AC0615J)をお使いください。

3. テープカートリッジをセットする

1 インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジのインクリボンにたるみがあるときは、テープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻き、必ずたるみをとってください。

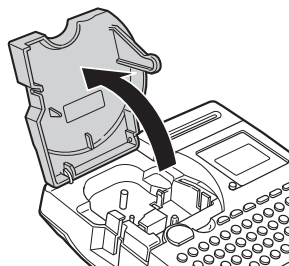


2 上カバーを開ける

上カバーのつまみ部分を持ち上げてカバーを開けます。

●注意!●

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。

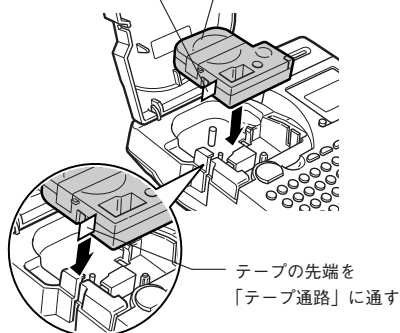


3 テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと差し込みます。正しくセットすると、本機のフックによりテープカートリッジが固定されます。テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

テープの先端をまっすぐに伸ばす

ラベル面を上にする



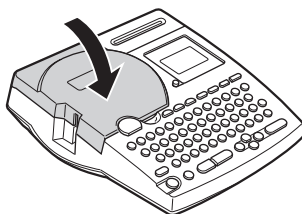
テープの先端を「テープ通路」に通す

4 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押しつけてしっかり閉じます。

●注意!●

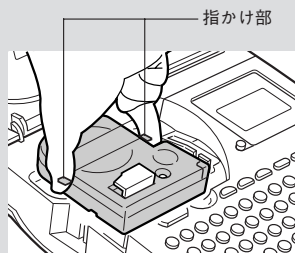
- テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 上カバーはしっかり閉じてください。



MEMO

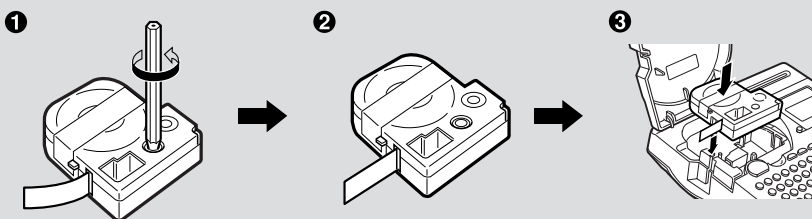
テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本機にしっかりと保持されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



新品のテープカートリッジをセットするときは


- 1 インクリボンのたるみを取ります。
- 2 テープの先端が曲がっていたらまっすぐにします。
- 3 カートリッジをラベルの貼ってある面を上にしてまっすぐに差し込み、引き出されているテープは「テープ通路」に通します。



テープカートリッジの回収

当社では使用済み「テブラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テブラ」テープカートリッジはお近くの「テブラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。

注意!

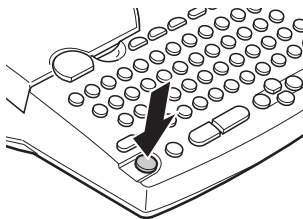
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm の5種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
参照  P.42 「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光・高温多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
- 12mm幅テープと18mm幅テープでは、印刷される最大文字サイズは同じです。
- テープカートリッジを交換するときは、電源を切ってからおこなってください。

4. 電源を入れる

電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？

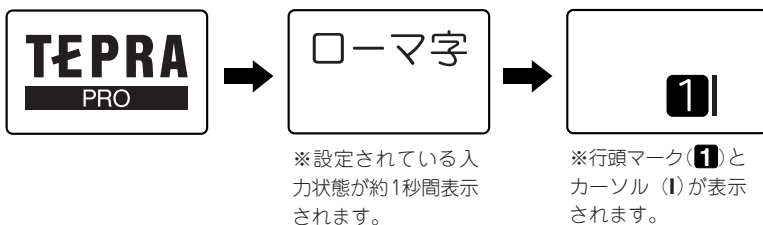
① を押す



② 電源が入るとタイトル画面が表示される


すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている文字サイズ、縦・横、編集のインジケータが点灯します。

参照  P.19 「ディスプレイ(画面)の見かた」



MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます(電源が切れても入力した文章はなくなりません)。をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

●MEMO●

必ず「テープ送り」を!

テープカートリッジ装着後は、テープ、インクリボンのたるみをとるために、必ず「テープ送り」をおこなってください。

1 上カバーを開める

2 を押しながら を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

3 を数回押して「カット有」または「カット無」を表示させる






4 を押す

「カット有」の場合は、テープを約18mm空送りしたあとカットします。「カット無」の場合は、テープを約18mm空送ります。

6. ラベルを作る

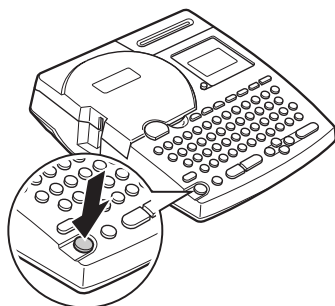
ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

- 基本的な文字入力から編集について  P.28～P.47 「使いかた編1」
- 書体、飾り字、枠・表、文字間、割付け、定長、余白、鏡文字を指定する(編集)  P.50～P.57 「使いかた編2」
- ファイルの登録・呼出・入換、コード入力、表示濃度、印刷濃度、デモ印刷、初期化について  P.60～P.70 「活用編」

●使い終わったら 〈電源を切る〉

1 (ON/OFF)を押す

電源が入っている状態で (ON/OFF) を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイルなどのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章がディスプレイに表示されます。



2 ACアダプタ(AC0615J)をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

●注意!●

長時間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

●MEMO●

長期間使わないとき

長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。ただし、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータを保存しておきたいときは、電池(別売)を正しくセットしたまま保管することをおすすめします。約4分以上本機に電源が供給されないと、データがすべて失われることがあります。

使いかた編 1

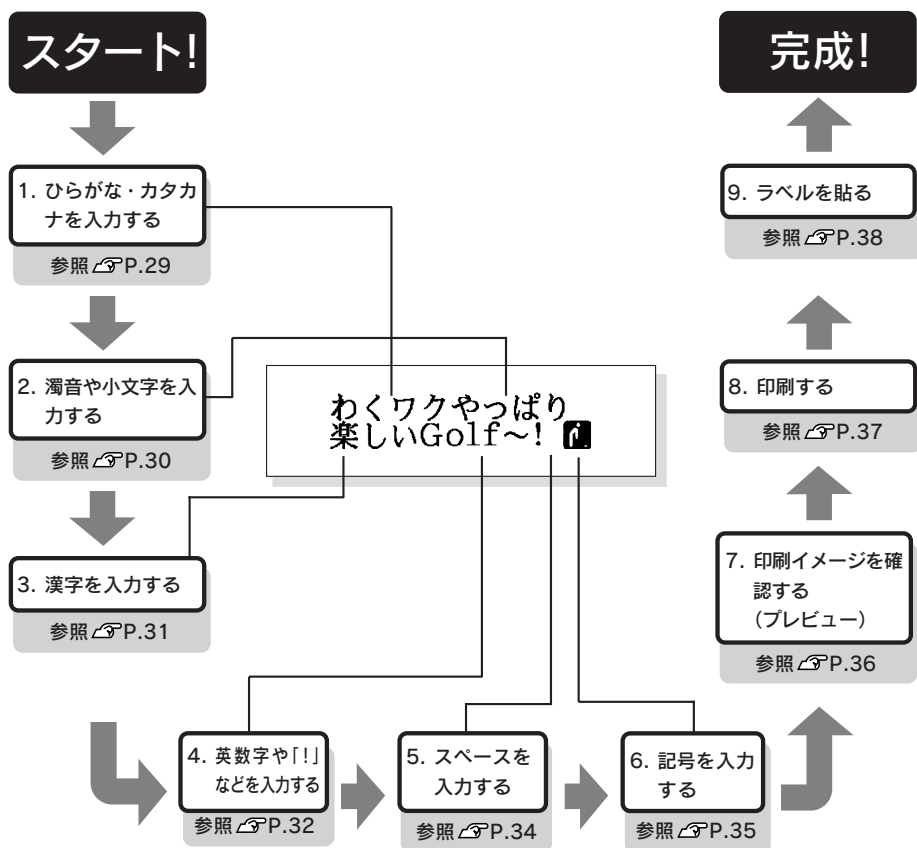
～簡単なラベルを作ろう～

最初は簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷といった「テプラ」の基本操作をマスターしてください。




●手順どおりに作ってみよう(文字入力～ラベルの完成まで)

以下のサンプルラベルを、手順どおりに作ると基本的な操作がカンタンに覚えられます。



本機の準備ができたなら、まずサンプルラベルを作って基本的な操作を覚えましょう。

■ それではスタート! 

1. ひらがな・カタカナを入力する

読みを入力してから **無変換** を1回押すとひらがなに、**無変換** を2回押すとカタカナになります。

入力後のラベル：

ここを入力します

わくわくやっぱり
楽しいGolf~!

- 1 **かな** を数回押して「ローマ字」または「かな」を選ぶ

ローマ字 かな

- 2 「わく」を入力する

ローマ字入力の場合： **W** **A** **K** **U**

かな入力の場合： **O** **H**

1 わく

「わく」がネガ表示されます。

- 3 **無変換** を押し、**選択実行** で確定する

1 わく

「わく」が確定し、ボジ表示になります。

- 4 もう一度「わく」を入力する

く わく

- 5 **無変換** を2回押し、**選択実行** で確定する

く ワク

「ワク」が確定し、ボジ表示になります。

MEMO

- ローマ字入力の場合、**無変換** を3回押すとアルファベットになります。また、**シフト** を押しながら **無変換** を押すとアルファベットになり、押すたびにひらがな→カタカナ→アルファベットに変わります。
- 間違えてボタンを押したときは、**削除** で文字を消し、正しい文字ボタンを押しなおします。
- 無変換・カタカナ変換・アルファベット変換は、カーソル位置までのネガ文字に対して有効です。カーソル位置より後ろのネガ文字は、無変換・カタカナ変換・アルファベット変換できません。
- 変換を確定する最後の **選択実行** は省略できます。無変換やカタカナ・アルファベットに変換したあと、続けて次の文字を入力すれば、前の文字は自動的に確定します。
- 無変換** を省略し、**選択実行** だけを押しとネガ文字をひらがなに確定することができます。

特殊なひらがな・カタカナの入力方法

- ローマ字入力の場合
「を・ヲ」… **W** **O** を続けて押す
「ん・ン」… **N** を2回押す
「ゐ・ヰ」… **W** **I** を続けて押す
「ゑ・ヱ」… **W** **E** を続けて押す
- かな入力の場合
「を・ヲ」… **シフト** を押しながら **O** を押す
「ん・ン」… **V** を押す

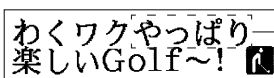
次へ進みます

2. 濁音や小文字を入力する

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音(「ざ」「ば」) 半濁音(「ば」「べ」)	拗音(「ゃ」「ゅ」「ょ」) 促音(「っ」)
ローマ字入力	濁音・半濁音用のスペルで入力します。 参照 P.90 「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ● を押しながら最初の文字ボタンを押す。 ● を押してから通常の文字ボタンを押す。 ● 「きゃ」などのように他の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照 P.90 「ローマ字変換表」
かな入力	清音のあとに、「°」や「°」を入力します。	を押しながら文字ボタンを押します。

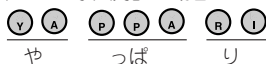
入力後のラベル：



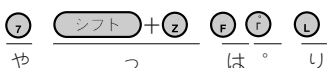
ここを入力します

1 「やっばり」を入力する

「ローマ字入力」の場合：



「かな入力」の場合：



2 を押し、 で確定する



「やっばり」がボジ表示になります。

3 で改行する



MEMO

ローマ字入力の場合

- 「ひゃ」、「しゅ」など、前後の文字と組み合わせて小文字を入力することもできます。スペルはローマ字変換表を参照してください。
参照 P.90 「ローマ字変換表」

「っ」の入力方法

前後の文字と合わせて入力するときは、直後の文字の子音を2つ重ねます。

例：

…… 「さっか」

…… 「かっつ」

単独で入力する

- 小文字
スペルの前に「L」(Little=小さいの意味)をつけて入力することができます。

例：

…… 「っ」

- 入力できる小文字は「あいうえおかけつやゆよ」、「アイウエオカケツヤユヨ」です。

次へ進みます

3. 漢字を入力する

「読み」を入力したあと、**変換スペース**を押すと漢字に変換できます。

入力後のラベル：

ここを入力します

わくワクやっぱり
楽しいGolf~!

- 1** 「たのしい」を入力する
「たのしい」がネガ表示されます。

くワクや
のしい

- 2** **変換スペース**を押す
1番目の候補が点滅します。

たのしい
楽しい

変換スペース（または**→****↓**）を押すたびに、候補が次々と表示されます。

- 3** 「楽しい」が点滅表示されている状態で
選択実行を押す
「楽しい」が確定し、ポジ表示になります。

わくワク
楽しい

●注意!

一度に入力できる「読み」は16文字以内です。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾3文字だけとなります。

●MEMO

- 手順**2**のあと、**無変換**（または**←****↑**）を押すと、前の候補が順番に表示されます。**←****↑****↓****→**は、押し続けると表示が速くなります。**シフト**を押しながら**→****↓**を押すと一番最後の候補が、**シフト**を押しながら**←****↑**を押すと一番最初の候補が表示されます。
- 一度選択した語句は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります（学習機能）。
- 変換をやめるときは**削除**を押します。

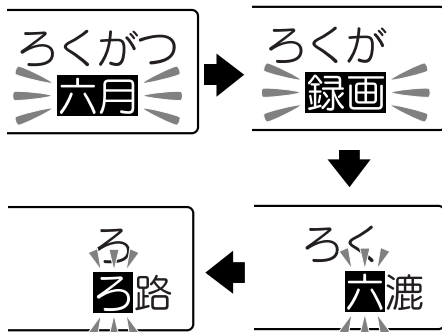
漢字の読みを短くする

目的の漢字が変換した漢字候補の中に見つからないときは、**シフト**+**変換スペース**で漢字変換の対象とする「読み」を短くすることができます。

例：「ろくがつ」の読みを短くする

- 1** 「ろくがつ」を入力して**変換スペース**を押す
1番目の候補が点滅します。

- 2** **シフト**を押しながら**変換スペース**を押す
押すたびに読みが短くなり、順に「ろくが」、「ろく」、「ろ」という読みの候補が表示されます。



次へ進みます

4. 英数字や「！」などを入力する

「ABC入力」「ローマ字入力」にすると直接、英数字を入力できます。小文字の入力には(シフト)を使います。文字ボタンに表記された英記号「¥」「~」「/」などは文字ボタンを押して入力し、操作パネルに表記された表記号「!」「*」「.」などは、(シフト)を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

入力後のラベル：

わくわくやっぱり
楽しいGolf~! 

——ここを入力します

ABC入力するとき

例：「Golf ~!」

- ①  を数回押して「ABC」を選ぶ

ABC

- ② 「Golf」を入力する

 を押して、(シフト) を押しながら    を押します。「Golf」が入力されます。

やっぱり
o | f |

- ③ 「~」を入力する

 を押します。「~」が入力されます。

っぱり
| f ~ |

- ④ 「!」を入力する


(シフト) を押しながら  を押します。「!」が入力されます。

ぱり
f ~ ! |

ローマ字入力するとき

(アルファベット変換： + )

例：「Golf ~!」

- ①  を数回押して「ローマ字」を選ぶ

□ーマ字

- ② 「Golf」を入力する

 を押して、(シフト) を押しながら    を押します。「golf」がネガ表示されます。

クやっぱ
ご | f |

- ③ (シフト) +  を押す

「golf」がアルファベット変換されて「Golf」が入力されます。

やっぱり
o | f |

- ④ 「~」を入力する

 を押します。「~」が入力されます。

っぱり
| f ~ |

- ⑤ 「!」を入力する

(シフト) を押しながら  を押します。「!」が入力されます。


ぱり
f ~ ! |

● 注意!

「かな入力」の状態では、英数字を入力できません。

● MEMO ●

数式の「²」、「³」、「₄」、「₅」などの上付・下付数字は、**記号**を押して表示される記号メニューの「数字」を選択し、その中から入力します。

参照  P.35 「6.記号を入力する」

小文字ロック



シフトを押しながら 小文字ロック を押すと、小文字インジケーターが点灯して、小文字入力状態がロック(保持)されます。この状態で文字ボタンを押すと、小文字を続けて入力できます。ただし、この状態で漢字変換をすると小文字が入力されるため、正しく変換されないことがあります。



小文字ロックのときは、**シフト**を押しながら文字ボタンを押すと、大文字が入力されます。もう一度、**シフト**を押しながら 小文字ロック を押すと、小文字ロックが解除されます。

「,」(カンマ)や「。」(句点)などを入力するときには

「,(カンマ)」・・・「ABC入力」で 、「ローマ字入力」で **シフト**+

「.(ピリオド)」・・・「ABC入力」で 、「ローマ字入力」で **シフト**+

「,(読点)」・・・「ローマ字入力」で 、「かな入力」で **シフト**+

「。(句点)」・・・「ローマ字入力」で 、「かな入力」で **シフト**+

次へ進みます



5. スペースを入力する

スペースを入力すると、ディスプレイ上に「□」が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

入力後のラベル：

わくワクやっぱり
楽しいGolf~! □

ここにスペースを入力します

1 ネガ文字がないことを確認する

●注意!●

ネガ文字が表示されているときに **変換スペース** を押すと、漢字変換がおこなわれます。

2 **変換スペース** を押す

半角スペースが入力されます。

り
~! □

ディスプレイには「□」が表示されますが、印刷時にはスペース(空白)として扱われ印刷されません。

●MEMO●

全角スペース

半角スペース(□)のほかに、全角スペース(□)があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースは、**記号** を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「□」を入力します。

半角スペース

山田 □ 太郎

約半文字分のスペース

山田 太郎

全角スペース

山田 □ 太郎

約1文字分のスペース

山田 太郎

- ネガ文字があるときは、スペースは入力できません。
- 入力方法は、「ローマ字入力」「かな入力」「ABC入力」のいずれでもかまいません。

次へ進みます

6. 記号を入力する

入力後のラベル：

わくワクやっぱり
楽しいGolf~!

ここを入力します

1 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。



2 上下左右の方向キーを数回押して「スポーツ」を点滅させる



3 選択実行を押す

「スポーツ」の候補が点滅します。



4 上下左右の方向キーを数回押して「人」を点滅させる



5 選択実行を押す

「人」が入力されます。



MEMO

- ネガ文字があるときは記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。
参照 P.85 「記号一覧表」
- 処理を途中でやめるときは [削除] を押してください。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。

[罫]：罫入力記号

縦罫線を入力します。

[]：全角スペース

全角のスペースを入力します。

参照 P.34 「5.スペースを入力する」

次へ進みます



7. 印刷イメージを確認する(プレビュー)

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1 テープカートリッジが正しくセットされていることを確認する

実際に印刷するテープカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。

テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。





参照 P.22 「テープカートリッジをセットする」

2 を押す

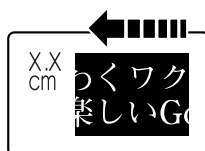
印刷イメージが流れるように表示されます。

ディスプレイの左側には印刷されるラベルの長さが表示されます。


イメージの表示中に  

    のいずれかのボタンを押すと、押し続けている間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。







プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

プレビューを途中でやめるときは  を押してください。

注意!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面のときのみです。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し」や「テープ幅確認」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合は、「テープ幅確認」と表示されプレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー」が表示され、プレビューは表示されません。
- 文字数が多く、定長サイズ内に収まらない場合は、「字余り強行？」が表示されます。この場合は、  または  以外のボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。  または  を押すと定長を解除してプレビューを表示します。
- プレビューは、あくまでもイメージであり、実際の印刷結果とは異なります。
- プレビュー時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。

次へ進みます

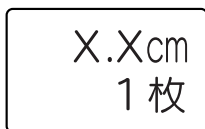
8. 印刷する


印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ(AC0615J)を正しく接続しているかを確認してください。

1 上カバーを開める





2 を押す

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。



印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは  を押してください。






MEMO

- 印刷中に  を押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数がカウント表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数99枚の次は「百枚」その次は「1枚」と表示されます。
- 余白を「なし」に指定した場合、印刷後のテープ送りとカットがされません。必要な枚数の印刷が終わったら、 を押しながら  を押して「テープ送り」「カット有」を選択しテープをカットしたあと、カットマークを市販のハサミでカットしてください。参照  ●余白
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。

ラベルケースについて

- よく使うラベルはラベルケースにストックしておけば、必要なときにすぐに取り出せて大変便利です。
- ラベルケースはラベルの保管以外には使用しないでください。

注意!

- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルは「自動カット」を「しない」で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。そのとき、テープ出口から3mm程度残してください。参照  「印刷時の自動カットをやめる」
- テープ取出し口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字など未確定の文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、正常に印刷できません。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ取出し口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し」や「テープ幅確認」と表示され印刷できません。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合は、「テープ幅確認」と表示され印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、幅の広いテープをセットしてください。
- 文字数が多く定長サイズ内に収まらない場合は、「字余り強行？」が表示されます。この場合は、 または  以外のボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。 または  を押しと定長を解除して印刷します。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 余白を「なし」に指定した場合、長さが18mm以下のラベルは作成できません。文章の長さが18mm以下の場合、印刷後18mmの長さまで自動的にテープを送ります。

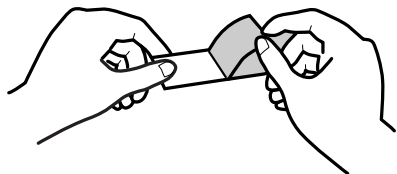
次へ進みます



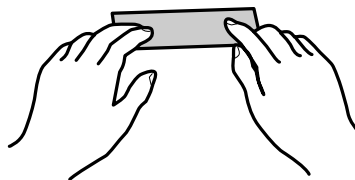
9. ラベルを貼る

できたラベルは裏紙をはがして貼ります。

① 裏紙をはがす



② しっかりとこすって貼り付ける



●注意!●

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がかすれたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- めれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。

●「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

●MEMO●

「テプラ」PROには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照 P.72 「テープカートリッジを使い合わせる」

最後に

以上で基本的な操作は終了です。
さらにいろいろな機能を覚えて楽しいラベルを作りましょう。



●印刷時の自動カットをやめる

複数のラベルを連続して印刷するときなど、1回ごとにラベルをカットしたくない場合や、本機のカッターでカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルを使う場合は、必ず自動カットを「しない」にして印刷してください。

1 環境 を押す

「環境設定」メニューが表示されます。



2 上下左右の矢印を数回押して「カット」を表示させ、「選択実行」を押す

「自動カット」メニューが表示されます。



3 上下左右の矢印を数回押して「しない」を表示させ、「選択実行」を押す

テキスト画面に戻ります。



4 印刷 を押す

印刷がはじまります。印刷が終わってもテープはカットされずそのまま止まります。カートリッジを取り出して、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。そのとき、テープ出口から3mm程度残してください。

一度、自動カットを「しない」に設定すると、以降はカットされずに印刷されます。全文消去を実行しても自動カットの設定は「しない」のままです。自動カットを有効にしたい場合は、再度「環境設定」メニュー(上記手順の①)で自動カットを「する」に設定してください。

●MEMO●

- 「シフト」を押しながら「テープ送り」を押すと、テープ送りの指定画面になり、いずれかを選ぶことができます。
「カット有」... テープを約18mm送り、自動カットする
「カット無」... テープを約18mm送る
- 「自動カット」を「しない」に設定して印刷した場合、前後の余白が異なることがあります。市販のハサミなどで調整してください。
- 余白を「なし」に指定している場合は、自動カットを「する」に設定していても自動的にカットされません。必要な枚数の印刷が終わったら、「シフト」を押しながら「テープ送り」を押して「テープ送り」「カット有」を選択しテープをカットしたあと、カットマークを市販のハサミでカットしてください。
参照 P.54 「●余白」

カッターの取り替え

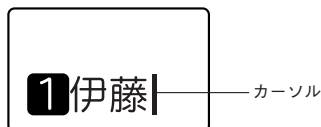
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げの販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 P.97 「アフターサービスについて」

●文章を編集する

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの編集ができます。

カーソルボタンの使いかた

ディスプレイに表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を入力・削除する位置を表わします。



カーソルの移動にはカーソルボタン(←)(↑)(↓)(→)を使います。


本機のディスプレイには最大4文字×2行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、初めに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
(←)を1回押す	左方向に1文字移動します。
(↑)を1回押す	前(上)の行へ移動します。
(↓)を1回押す	次(下)の行へ移動します。
(→)を1回押す	右方向に1文字移動します。
(シフト)+(←)を押しながら(←)を押す	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭へ移動します。
(シフト)+(↑)を押しながら(↑)を押す	1行目へ移動します。
(シフト)+(↓)を押しながら(↓)を押す	最終行へ移動します。
(シフト)+(→)を押しながら(→)を押す	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末へ移動します。

●MEMO●



- (←)(↑)(↓)(→)を押し続けると、矢印の方向に高速で移動します。
- 文章中にネガ文字があると、カーソルはネガ表示の範囲内でしか移動しません。

文字を削除/挿入する

文字の後ろ(右側)にカーソルを合わせ  を押すと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例 : 「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

- 1**   を数回押して「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる



- 2**  を押して「定期」を削除する



 x2回



カーソル位置は行頭になります。

- 3** 「特別」を入力する





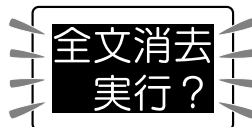
● 注意! ●


挿入によって文字数が入力可能文字数(約60文字)をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク(◀)が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- 1**  を押しながら  を押す
消去メニューの「全文消去」が点滅します。




- 2**  を押す
ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。



● 注意! ●

入力した文章には、文字サイズ、縦・横、編集の指定内容と一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを十分に確認してから全文消去をおこなってください。

● MEMO ●

- 全文消去では、以下の内容は消去されません。ファイル登録データ、各種保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力方法(小文字ロックを除く)
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機の初期化をおこなってください。
参照  「本機を初期化する」

●行を増やす(改行)

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから18mmまで5種類の幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

行数	行頭マーク	テープ幅				
		4mm	6mm	9mm	12mm	18mm
1行	①	○	○	○	○	○
2行	②	—	○	○	○	○
×行	⊗	—	—	—	—	—

(○：印刷できる —：印刷できない)


●MEMO●

- 表示されている文章が何行目にあるかは行表示インジケータや行頭マーク(①②⊗)で確認できます。
- 文章は3行(行頭マーク⊗の行)まで作成できますが、⊗の表示があるときに印刷を押しても「行数オーバー」が表示されます。⊗のある行を削除してから印刷をおこなってください。
参照 P.73 「こんな表示が出たときは—行数オーバー」
- 文字がラベルの上または下に小さく寄ってしまうときは文字が確定されている状態で文頭または文末で「選択改行」を押すと、何も入力されていない新しい行が作られます。その行も含んだ行数で印刷されるため、すでに文字を入力していた行は、上または下に寄って印刷されます。
このようなときは、←↑↓→を押して必要のない行の行頭マークの右側にカーソルを合わせ、「削除改行」を押して削除してください。
参照 P.44 「2行の文章を1行に変更する」

新しい行を作る

本機では、4mm幅テープで最大1行、6・9・12・18mm幅テープで最大2行までのラベルを作ることができます。

ディスプレイに表示されている文章が何行目にあるかは、行表示インジケータや行頭マークで確認します。

例：


1 「本社」を入力する













2 を押す 2行目が発生します。



3 「営業部」を入力する



MEMO

- ネガ文字があるときは、を押しても改行できません。
- 4mm幅テープは3行(行頭マーク☒の行)まで作成できますが、2行以上入力した文章は印刷できません。1行以内で文章を編集してください。
- 6・9・12・18mm幅テープは3行(行頭マーク☒の行)まで作成できますが、3行まで入力した文章は印刷できません。2行以内で文章を編集してください。
- カーソルは、で移動します。
- 何も入力されていない新しい行が挿入されている状態で印刷をすると、その行も含んだ行数で印刷されるため、文字がラベルの上または下に寄って印刷されます。このようなときはを押して必要のない行の行頭マークの右側にカーソルを合わせ、を押して行を削除してください。

1行の文章を2行に変更する

1行目の途中で改行すると、カーソルより後ろ(右側)の文字は2行目に移ります。

例：

本社営業部



本社
営業部

- ① ← ↑ ↓ → を数回押して「本社」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 本社営

- ② 選択改行 を押す
「営業部」は改行されて2行目に移動します。

1 本
2 営

MEMO

- ネガ文字があるとき、**選択改行** を押しても改行できません。
- 4mm幅テープは2行以上入力した文章は印刷できません。1行以内で文章を編集してください。

2行の文章を1行に変更する

2行目の行頭マークにカーソルを合わせて **削除** を押すと、1行になります。

例：

本社
営業部



本社営業部

- ① ← ↑ ↓ → を数回押して2行目の行頭マーク②の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 本
2 営

- ② **削除** を押す
2行目の「営業部」が1行目に連結され、1行の文章になります。

1 本社営

MEMO

1行目の行頭マーク①は削除できません。

●文字サイズを変更する

文字サイズは **サイズ** を押したときに表示されるサイズメニューで指定します。

いくつかの選択肢から文字サイズ(行の大小)を選びます。表示されるピクトグラフ(イメージ図)で各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

1行

□□ 大(ご購入時の初期設定値)、**□□□** 中、**□□□□** 小、**□□□□□** 細と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさと印刷されます。

文字サイズ [pt]	美	美	美	美	美
テープ幅	G [24]	L [19]	M [13]	S [10]	P [6]
18mm	大	中	小	細	—
12mm	大	中	小	細	—
9mm	—	大	中	小	細
6mm	—	—	大	中	小・細
4mm	—	—	—	—	大・中・小・細

* 「—」は、印刷できない組み合わせです。

* 「G」「L」「M」「S」「P」は、文字サイズを表示する「テプラ」PRO共通の呼称です。

2行

各行が次のようなイメージで印刷されます。

□□□□ 大大(ご購入時の初期設定値) **□□□□** 大小 **□□□□** 小大 **□□□□□** 小小



1 **サイズ** を押す

「サイズ」の選択肢が表示されます。



2 **←↑↓→** を数回押して「2行」を選び

選択2行 を押す

「2行」の選択肢が表示されます。



3 **←↑↓→** を数回押して「**□□□□** 小大」を選び **選択2行** を押す

文字サイズが指定されます。

文字サイズはインジケータで確認できます。



●注意!

- 12mm幅テープと18mm幅テープでは印刷される最大文字サイズは同じです。
- テープカートリッジ幅によって、印刷できる行数に制限があります。
参照 **☞P.42** 「テープ幅と印刷できる行数」
- 書体に関わらず、強調などの装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のつぶれが発生することがあります。

●よこ書き・たて書きを切り換える

よこ書き・たて書きの切り換えは **縮・横** を押して切り換えます。

よこ書き(ご購入時の初期設定値)

よこ書き

たて書き

たて書き

例：

本社
営業部

よこ書きを
→
たて書きに

営業社
本部

1 **縮・横** を押し「たて書き」を表示させる

「たて書き」が指定され、たて書インジケーターが点灯します。

よこ書きに戻すときは、再度 **縮・横** を押し、「よこ書き」を表示させます。

たて書インジケーターは消灯します。

たて書き

●注意!●


テキスト画面はよこ書きで表示されます。「たて書き」を指定した場合は、プレビューで確認してください。

● たて書きで2桁の数字のラベルを作る


「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14 回目例会議」を入力する



14 回目例会議

- 1  を押し「たて書き」を表示させる
参照 P.46 「よこ書き・たて書きを切り換える」



たて書き

- 2  を押す
「記号」メニューが表示されます。



記号
記述

- 3  を数回押し「2桁数」を選び、 を押す
「2桁数字」の「十の位」の選択肢が表示されます。

記号
2桁数


- 4  を数回押し候補から「10」を選び、 を押す
ここでは「十の位」は10番台なので「10」を選びます。
10番台の選択肢が表示されます。

2桁数字
001020




- 5  を数回押し10番台の選択肢から「14」を選び、 を押す
カーソルの位置に「14」が表示されます。

10番台
1231415

- 6 続けて文章を入力する

- 7  を押す
縦書きの2桁数字が印刷されます。

● MEMO ●

- 手順②～⑤で操作を途中でやめるときは  を押してください。1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができ、操作が取り消されます。
- 2桁の数字は、 を押し「2桁数」を選んで入力します。キーボードから入力できる数字では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、 で2桁数字は入力できません。

使いかた編2

～表現豊かなラベルを作ろう～

「白抜き文字などで文字のデザインに凝ってみたい」

「楽しい飾り枠をつけたい」

「文字と文字の間隔を変えたい」

「ビデオテープの見出しに合ったラベルを作りたい」

こんなときは **編集** で「編集」の指定をおこないます。



●編集機能を使いこなす

書体、飾り字、枠・表、文字間、割付け、ラベルの長さ(定長)、余白、鏡文字を指定するときは **編集** を使います。

メニュー一覧

編集 を押すと以下のメニューが選択できます(**大字** は購入時の初期設定値)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
編集 書体 書体 和文書体と英数書体を指定します。	和文書体 明朝体 ゴシック	英数書体 自動 明朝体 ゴシック BR体
飾り字 飾り字 文字の装飾を指定します。	A ぶつう A 白抜 A 影 A 強調 A 斜体	
枠・表 表組み ピクトグラフ(イメージ図)のような表組みのラベルを作ります。 外枠 ピクトグラフ(イメージ図)のような飾り枠がつけられます。 参照 字 P.89 「外枠一覧表」	なし 表組み 外枠	01 02 03 04 01 02 03 : 74 75
文字間 文字間 文字間隔を調整します。	ぶつう 密着	
割付け 割付け 各行の文字の配置を指定します	前 中 割 後	

メニュー	最初の選択肢
<p>定長</p> <p>定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。</p>	<p>MD 音楽テープ ミニDV 8mmビデオ VHS FD/MO B5ファイル A4ファイル しない 1.8cm : 50cm</p>
<p>余白</p> <p>余白 ラベルの前後の余白の有無を指定します。</p>	<p>あり なし</p>
<p>鏡文字</p> <p>鏡文字 鏡像で印刷するかどうかを指定します。</p>	<p>鏡像 しない</p>
<p>終り?</p> <p>終り メニューを終了し、指定を有効にします。</p>	

●書体

文字の書体を指定します。英数書体で「自動」を選ぶと、和文書体と同じ書体が指定されます。

和文 明朝体(ご購入時の初期設定値)

和文 ゴシック

美しい文字

美しい文字

英数 明朝体

英数 ゴシック

Beautiful

Beautiful

英数 BR体

Beautiful

●飾り字

文字の装飾を指定します。

ふつう(ご購入時の初期設定値)

綺麗な装飾

影

綺麗な装飾

斜体

綺麗な装飾

白抜

綺麗な装飾

強調

綺麗な装飾

●MEMO●

書体に関わらず、飾り字、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のつぶれが発生することがあります。

●枠・表

文章(段落)のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし(ご購入時の初期設定値)

外枠・表組みをつけません。

表組み

行間に横罫線を引く枠をつけます。

表示されるピクトグラフ(イメージ図)で表組の種類を確認できます。

参照 P.50 「メニュー一覧」

管理番号
0152-S

●MEMO●

表組みのラベルで行中にも縦罫線を入れるときは、記号を押して表示される「記号」メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。

表組み
表1表2

行中に縦罫線が入っている

表組み
表1罫表

ディスプレイ上ではこうなります

外枠

文章のまわりに外枠をつけます。

表示されるピクトグラフ(イメージ図)で外枠の種類を確認できます。

参照 P.89 「外枠一覧表」



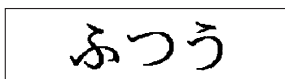
Merry Christmas



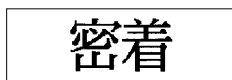
●文字間

文字と文字との間隔を選びます。

ふつう(ご購入時の初期設定値)



密着







●MEMO●

あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。

●割付け

2行のとき、各行の「揃え」を指定します。


 前 前揃え (ご購入時の初期設定値)	行頭を揃えます。
 中 中揃え	1行目、2行目の中心を揃えます。
 割 割付け	長い方の行の長さに揃えて、短い方の行を均等に割り付けます。
 後 後揃え	行末を揃えます。

●MEMO●

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●定長

印刷するラベルの長さを指定します。

参照  P.57 「決まった長さのラベルを作る(定長印刷)」

用途別メニューのラベルの長さ

用途別メニューは、用途を選ぶとラベルの長さが自動的に設定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお奨めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
MD	7.0cm	9mm
音楽テープ	9.5cm	9mm
ミニDV	6.0cm	9mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
VHS	14.0cm	18mm
FD/MO	7.0cm	18mm
B5ファイル	15.0cm	12mm
A4ファイル	20.0cm	12mm

●余白

ラベルの前後の余白長さを指定します。

あり(余白：前後約10mm、ご購入時の初期設定値)

余白あり

「なし」を指定すると、「自動カット」設定の有無に関わらず印刷後にオートカットがされません。印刷後、**シフト**を押しながら^{テープ送り}**印刷**を押して「テープ送り」「カット有」を選択しテープをカットしたあと、文章の前に印刷されているカットマークを市販のハサミでカットしてください。

なし

余白なし 余白なし 余白なし



●注意!

余白を「なし」に指定した場合、長さが18mm以下のラベルは作成できません。文章の長さが18mm以下の場合は、印刷後18mmの長さまで自動的にテープを送ります。

●MEMO

複数のラベルを連続して印刷する場合、余白を「なし」に指定するとテープの使用量を節約できます。

●鏡文字

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

しない(正像、ご購入時の初期設定値)

テプラ

鏡像

ㄥㄥㄥ

編集を指定する






編集の各機能は以下のような流れで指定します。

① を押す

カーソル位置はどこでもかまいません。






文章中にネガ文字があるとき、編集機能は指定できません。











② 編集メニューを選ぶ

を数回押して変更するメニューを点滅(またはネガ表示)させ、を押します。メニューが選択され、選択肢を指定する画面になります。








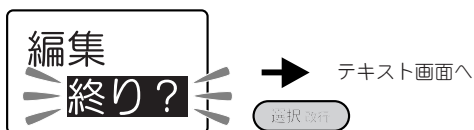
③ 各メニューの選択肢を指定する

を数回押して変更する選択肢を点滅(またはネガ表示)させ、を押します。選択肢によっては、次の選択肢を指定します。






書体	和文の書体を指定し、さらに英数字の書体を指定します。	 → 
飾り字	文字の装飾を指定します。	
枠・表	枠・表の有無と種類を指定します。「外枠」か「表組み」を指定し、さらに種類を指定します。	 → 
文字間	文字と文字の間隔を指定します。	
割付け	「前揃え」「中揃え」「割付け」「後揃え」で、各行の文字の配置を指定します。	
定長	ラベルの長さをファイルやビデオテープなどの用途別、またはcm単位で指定できます。	
余白	ラベルの前後余白の有無を指定します。	
鏡文字	鏡像で印刷するかどうかを指定します。	

4 「終り？」を選ぶ

変更する編集メニューの指定が終わると、次の編集メニューが表示されます。すべての指定が終わったら、    を数回押して「終り？」を表示させ、 を押します。編集の指定が終了し、テキスト画面に戻ります。指定した編集メニューの内容は文章全体に反映されます。



MEMO

- 操作を途中でやめるときは  を押してください。1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができ、指定が取り消されます。
- ネガ文字があるときは、編集は指定できません。
- 表組み・外枠の種類は、    の代わりに番号を数字ボタンで指定して表示させることができます。
- 現在の編集の指定内容は、ディスプレイ表示とともにインジケータの点灯でも確認できます。
- 強調などの装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のつぶれが発生することがあります。

● 決まった長さのラベルを作る(定長印刷)

定長印刷を利用すれば、用途に合わせて決まった長さのラベルが作れます。

例：MDのラベルを作る（長さ7.0cm、推奨テープ幅9mm）



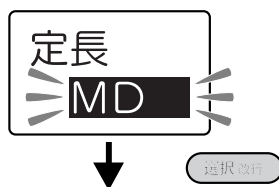
- 1 を押す
「編集」メニューが表示されます。



- 2 を数回押して「定長」を選び、
 を押す



- 3 を数回押して「MD」を選び、
 を押す
「編集」メニューに戻ります。



- 4 を数回押して「終り？」を選び、
 を押す
定長インジケーターが点灯します。



● MEMO ●

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「字余り強行？」が表示され、印刷できません。文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。そのまま または を押すと、定長を解除して印刷します。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さとは一致しません。
- 用途別メニューから用途を選んだときは、推奨テープ幅のテープのご使用をお奨めします。
参照 P.53 「●定長 用途別メニューのラベルの長さ」

希望の長さを数値で指定する

手順④で希望の長さを数字ボタンで入力することもできます。10cm以下にしたい場合(小数点の指定が必要な場合)は手順③で次のように操作します。

- 希望の長さに近い数字ボタンを押します。例えば2.6cmにしたい場合は②または③を押します。
- を押します。
- を数回押して希望の長さを選び、 を押します。

活用編

～まだあるこんな機能～

本機には、さらに便利な機能があり、作ったラベルの文章を保存したり、読みのわからない漢字を入力したりできます。



●文章をファイルする

作った文章は本機のファイルに登録し、保存しておくことができます。ファイル登録した文章は、必要に応じてディスプレイ上に呼び出し、何度でも使うことができます。保存できるファイルは1個です。

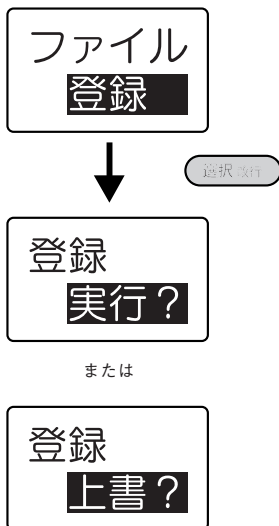
●注意!

- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池(別売)を使用することをおすすめします。約4分以上、本機に電源が供給されないと、データがすべて失われることがあります。
- 電池を交換する程度の時間(約4分間)は、バックアップ用の回路によって電源が供給されますが、電池交換は速やかにおこなってください。
- 長期間の保管により、電池が切れてデータが失われることがあります。

1 文章を作成する

2 **ファイル**を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

3 **↑ ↓**で「登録」を選び、**選択実行**を押す
確認メッセージ(「実行?」または「上書?」)が表示されます。



すでに保存されているファイルがあるときは「上書?」と表示されます。

●注意!

- すでに保存されているファイルがあるときは「上書?」と表示されます。そのまま選択すると以前のファイルは消去されます。以前のファイルを残しておきたい場合は、**削除取消**を押して操作を中止してください。
- 「入換」機能を使うとファイルの文章とディスプレイ上の文章を入れ換えることができます。参照 P.62 「ファイルを入れ換える」
- 操作を途中でやめる場合は、**削除取消**を押してください。1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 入力した文章中にネガ文字があると「ファイル」メニューを表示できません。

4 **選択実行**を押す

「登録実行」と表示された後、テキスト画面に戻ります。

「上書?」表示のときに**選択実行**を押すと、以前に保存したファイルが消去され、現在の文章が登録されます。

登録実行

●ファイルを呼び出す

ファイルに登録した文章をディスプレイ上に呼び出します。ファイルを呼び出すと、ディスプレイ上の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。

- 1 **ファイル**を押す
「ファイル」メニューが表示されます。



- 2 **↑** **↓**で「呼出」を選び、**選択実行**を押す
2行目に呼び出すファイルが表示されます。



●MEMO●

保存されているファイルがないときは「ファイル無し」と表示されます。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。

- 3 ファイルの内容を確認する
← **↑** **↓** **→**でファイルの内容を確認できます。



- 4 **選択実行**を押す
確認メッセージ(「実行?」)が表示されます。

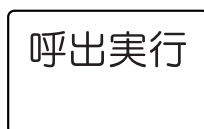


●注意●

- ファイルを呼び出すと、ディスプレイ上にある文章は消去されます。「呼出」を選ぶ前に、もう一度確認してください。
- 「入換」機能を使うとファイルの文章とディスプレイ上の文章を入れ換えることができます。
参照 P.62 「ファイルを入れ換える」
- 操作を途中でやめるときは **削除**を押してください。1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 入力した文章中にネガ文字があると「ファイル」メニューを表示できません。

- 5 **選択実行**を押す

「呼出実行」と表示されたあとファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。



●ファイルを入れ換える

ディスプレイ上の文章とファイルに登録されている文章を入れ換えることができます。ディスプレイ上の文章はファイルに登録され、ファイルに登録されている文章がディスプレイ上に呼び出されます。

1 **ファイル**を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 **↑ ↓**で「入換」を選び、**選択実行**を押す
2行目に呼び出すファイルが表示されます。



3 ファイルの内容を確認する
← ↑ ↓ →でファイルの内容を確認できます。



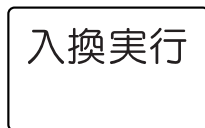
4 **選択実行**を押す
確認メッセージ(「実行?」)が表示されます。



●注意!●

- 操作を途中でやめるときは **削除**を押してください。1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 入力した文章中にネガ文字があると「ファイル」メニューを表示できません。

5 **選択実行**を押す
「入換実行」と表示されたあと、ファイルの文章が呼び出され、ディスプレイ上に表示されます。
ディスプレイ上の文章はファイルに登録されます。



●読みのわからない漢字を入力する(コード入力)

「読み」のわからない漢字は、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

本書では区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書、またはワープロなどに付属されているコード表を参照してください。

参照  P.79 「漢字変換表」


例：「お休み處」と入力する

1 ネガ文字がないことを確認する



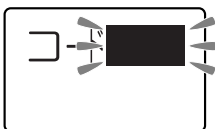
2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處...4961 (区点コード)

参照  P.79 「漢字変換表」

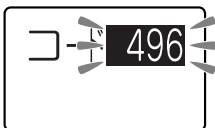
3 を押しながら を押す

「コード入力」画面が表示されます。



4 コードを入力する

    を押します。




最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですがJISコードでは「普」です。このように異なるコードにも候補があるときは、それぞれの候補が表示されます。

●MEMO●

コードの入力を間違えたときは  を押して入力しなおしてください。

5 で漢字を選び、 を押す

「處」が入力されます。







●環境設定を変更する

ディスプレイの表示濃度や印刷の濃度、初期値(保存値)は環境設定で変更します。

メニュー一覧

環境 を押すと以下のメニューが選択できます(太字 は購入時の初期設定値)。

メニュー	最初の選択肢
環境設定	
印刷濃	
印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照 P.65「印刷の濃度を調整する」	-3 -2 -1 ふつう +1 +2 +3
表示濃	
表示濃度 表示の濃さを設定します。 参照 P.65「ディスプレイの濃度を調整する」	-5 : -1 ふつう +1 : +5
カット	
自動カット 印刷後の自動カットの有無を設定します。 参照 P.39「印刷時の自動カットをやめる」	する しない
保存値	
保存値復元 各種の保存値を購入時の状態(初期設定値)に戻します。 参照 P.67「保存値を初期設定値に戻す」 保存値設定 保存値として環境設定をします。 参照 P.67「保存値を変更する」	復元? 縦・横 サイズ 書体 飾り字 枠・表 文字間 割付け 定長 余白 鏡文字 終り?
	詳細な項目を選択できます。

● 印刷の濃度を調整する(印刷濃度)

印刷濃度は-3 ~ふつう~+3 の7段階で設定できます。印刷が薄いとときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

- 1 **環境** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

- 2 「印刷濃」を選び、**選択実行** を押す



- 3 **↑** **↓** で濃度を調整し、**選択実行** を押す
印刷濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。



● ディスプレイの濃度を調整する(表示濃度)

ディスプレイの表示濃度は-5 ~ふつう~+5 の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- 1 **環境** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

- 2 「表示濃」を選び、**選択実行** を押す



- 3 **↑** **↓** で濃度を調整し、**選択実行** を押す
初期設定値は「ふつう」に設定されています。表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。



● 注意!

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がつぶれたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 反射ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は印刷濃度を「+3」に設定してください。
参照 [P.72](#) 「テープカートリッジを使いかわる」

● MEMO

- 設定を途中でやめるときは **削除** または **環境** を押してください。1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 表示濃度や印刷濃度は、全文消去や電源OFFでは初期化されません。この操作によって設定しなすか、本機の初期化をおこなってください。
参照 [P.70](#) 「本機を初期化する」

●各種の初期値(保存値)を変更する

本機では **サイズ** **縦・横** **編集** を押すと、下表メニューが表示されます。




ボタン	指定できる選択肢
サイズ	(文字)サイズ
縦・横	よこ書き・たて書き
編集	書体、飾り字、枠・表、文字間、割付け、定長、余白、鏡文字

上表のメニューを選ぶと選択肢が表示されますが、ご購入時にはあらかじめ決められた選択肢が保存されています。


ご購入時の保存値を「初期設定値」と呼びます。この「初期設定値」は変更することができます。例えば、「書体」の保存値を「ゴシック」に変更しておくこと、通常は「ゴシック」のラベルになります。保存値を変更しておくことと文章を作るたびに **サイズ** **縦・横** **編集** などに変更する必要がなくなります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。



●MEMO●

- 各メニューの初期設定値については、以下を参照してください。
参照  P.45 「文字サイズを変更する」
参照  P.46 「よこ書き・たて書きを切り換える」
参照  P.50 「編集機能を使いこなす」
- 通常、**サイズ** **縦・横** **編集** の指定内容は、全文消去をおこなうと、保存値の内容に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。




●注意!●

保存値の設定を変更するときは、テキスト画面に入力されたすべての文章を消去する必要があります。
参照  P.41 「すべての文章を消去する」


保存値を変更する(保存値設定)

- 1 入力中の文章がないことを確認する
- 2 を押す
「環境設定」メニューが表示されます。
- 3 「保存値」を選び、を押す
「保存値」メニューが表示されます。



- 4 変更する項目を選び、さらに設定したい選択肢を選ぶ
各項目の設定方法は通常の文字サイズ・編集機能などの指定方法と同じです。
サイズ:参照 「文字サイズを変更する」
縦・横:参照 「よこ書き・たて書きを切り換える」
書体、飾り字、枠・表、文字間、割付け、定長、余白、鏡文字:参照 「使いた編2」





- 5 すべての項目の設定が終わったら、「保存値」メニューから「終了?」を選び、を押す
保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。




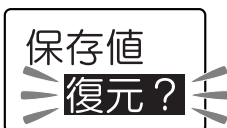
保存値を初期設定値に戻す(保存値復元)

印刷濃度と表示濃度、自動カット以外のすべての設定をご購入時の設定(初期設定値)に復元します。

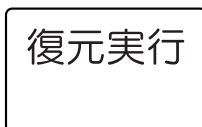
- 1 入力中の文章がないことを確認する
- 2 を押す
「環境設定」メニューが表示されます。
- 3 「保存値」を選び、を押す
「保存値」メニューが表示されます。




- 4 「復元?」を選び、を押す
「復元実行」と表示され、すべての設定が初期設定値に戻ります。







MEMO

操作を途中でやめるときは を押してください。1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。


注意!

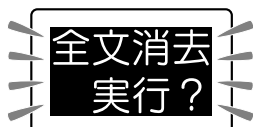
保存値の設定を変更したり、初期設定値に戻したりするときには、テキスト画面に入力されたすべての文章を消去する必要があります。

参照 「すべての文章を消去する」

● デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

- 1** **シフト** を押しながら **削除** を押す
デモ印刷をするときには、テキスト画面に入力されたすべての文章を消去する必要があります。作成中の文章が必要な場合は、ファイルに登録しておいてください。
参照  P.41 「すべての文章を消去する」



- 2** **ABC** を数回押して「ABC」を選ぶ



- 3** **シフト** を押しながら **D** **E** **M** **O** と小文字で入力する




- 4** **シフト** を押しながら **変換スペース** を押す
デモ印刷がおこなわれます。



● 注意 ●

ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げの販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.97 「アフターサービスについて」

● MEMO ●

印刷を途中でやめるときは **削除** を押してください。

ラベルライター「デブラ」PRO オートカッター 和文2書体・英数3書体 大容量!熟語辞書 豊富な記号 図や外枠

4mm

ラベルライター「デブラ」PRO オートカッター 和文2書体・英数3書体 大容量!熟語辞書 豊富な記号 図や外枠

6mm

ラベルライター「デブラ」PRO オートカッター 和文2書体・英数3書体 大容量!熟語辞書 豊富な記号 図や外枠

9mm

ラベルライター「デブラ」PRO オートカッター 和文2書体・英数3書体 大容量!熟語辞書 豊富な記号 図や外枠

12mm

ラベルライター「デブラ」PRO オートカッター 和文2書体・英数3書体 大容量!熟語辞書 豊富な記号 図や外枠

18mm

●本機を初期化する

お願い

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり、電源のON/OFFができなくなるなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、「本機の初期化」でも正常に動作しない場合には、お買い上げの販売店、または「テブラ」取扱店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。


初期化とは

初期化の操作により、以下の内容がすべてご購入時の状態に戻ります。

操作の前に充分確認してから、初期化をおこなってください。

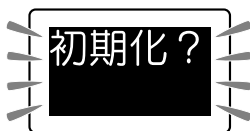
- ・入力した文章
- ・ファイルのデータ
- ・保存値の設定値
- ・表示濃度の設定値
- ・印刷濃度の設定値
- ・自動カットの設定値
- ・その他の学習内容

電源のON/OFFが可能なとき

1  を押していったん電源を切る

2  と  を押しながら  を押す

「初期化？」が点滅します。





3  を押す


初期化がおこなわれ、「初期化 実行！」と表示された後、タイトル画面、入力モードが表示され、テキスト画面になります。

初期化
実行！

電源のON/OFFが不可能なとき

 を押しても電源が切れないときは、ACアダプタを抜いて、電池も抜きます。次にもう一度電池を入れ(またはACアダプタをコンセントに差し込み)、再度  を押して電源を入れ「電源のON/OFFが可能なとき」にしたがって初期化してください。

●注意!

- 初期化をやめるときは  以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

付録



●テープカートリッジを使いわせる

反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・グレー文字ラベルをご使用の際は下記のとおり対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベル	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照 P.39 「印刷時の自動カットをやめる」
印刷濃度の調整が必要	反射ラベル・透明つや消しラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル	印刷がカスれた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照 P.65 「印刷の濃度を調整する」
鏡文字の設定が必要	転写テープ、アイロン転写テープ	鏡文字を「鏡像」に設定して印刷します。 参照 P.54 「●鏡文字」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

●注意!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。

参照 [P.25](#) 「5.テープ送りをする」

●MEMO

- 以下の商品は生産を中止しています。
 - 夜光ラベル：2002年6月中止
 - 反射ラベル：2003年3月中止
 - 転写テープ：2003年5月中止
 - ふせん紙ラベル：2004年4月中止
 - 伸縮ラベル：2004年12月中止
- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブ(φ5mm)をご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。φ11mm熱収縮チューブは本機では使用できません。

●こんな表示が出たときは

ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します(オート・パワーオフ)。

エラーメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3 アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照 P.20 「1.AC アダプタを接続する」 参照 P.20 「2.電池(別売)を入れて使用するときには」
テープ無し	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 P.22 「3.テープカートリッジをセットする」
テープ幅確認	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを確認してください。 参照 P.22 「3.テープカートリッジをセットする」
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷やプレビューができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の行を削除するか、行数を減らしてください。 参照 P.42 「テープ幅と印刷できる行数」
字余り強行？	定長で指定したテープの長さにおさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。() または () を押すと、定長を解除して印刷またはプレビューを強行します。 参照 P.57 「決まった長さのラベルを作る(定長印刷)」
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
モーター異常！	モーター動作に不具合がありました。一度電源を切ってから、再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返されるときは、当社お客様相談室までご相談ください。 参照 P.97 「アフターサービスについて」
カッター異常！	カッター動作に不具合がありました。一度電源を切ってから、再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返されるときは、当社お客様相談室までご相談ください。 参照 P.97 「アフターサービスについて」

●MEMO●

表記以外の表示が出たときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.97 「アフターサービスについて」

●故障かな？と思ったら

ON/OFF ボタンを押してもディスプレイに何も表示されない

● ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

● 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。

● 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

同梱のACアダプタ(AC0615J)以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

● 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。

「電池を交換！」が表示されたら、すぐに新しい電池と交換してください。

● ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないうちがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照  P.65 「ディスプレイの濃度を調整する」

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。

不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をおこなってください。

参照  P.70 「本機を初期化する」


うまく漢字変換されない

● 小文字ロックされていませんか？

小文字ロックされているために、文章の内容が正しく入力されないことがあります。

小文字入力状態がロック(保持)されると、ディスプレイの小文字インジケータが点灯します。

 を押しながらか  を押して小文字ロックを解除してください。

参照  P.33 「小文字ロック」

を押しても何も印刷されない

● 文章は入力されていますか？

文章など何も入力されていないと印刷されません。

● ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？

準備中となっていると印刷できません。ディスプレイのメッセージを確認してください。

● 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？


テープカートリッジがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。

文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

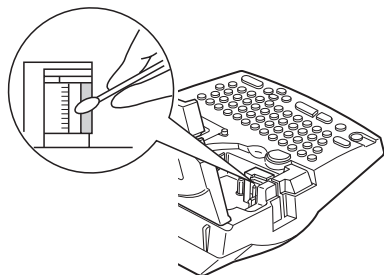
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。

参照  P.22「3.テープカートリッジをセットする」

- 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングキット(RC15)または、ヘッド・クリーニングテープ(SR18C)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。






参照  P.77「お手入れについて」



- 電池が消耗していませんか？

「電池を交換！」が表示されたら、すぐに新しい電池と交換してください。


- 何も入力されていない行が挿入されていますか？

何も入力されていない新しい行が挿入されている状態で印刷をすると、その行も含んだ行数で印刷されるため、文字がラベルの上または下に寄って印刷されます。このような時は     を押して必要のない行の行頭マークの右側にカーソルを合わせ、 を押して行を削除してください。

文章の途中までしか印刷されない

- テープの残りがありますか？

新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照  P.22「3.テープカートリッジをセットする」

- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池と交換してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ラベル印刷後、自動カットされない

- 自動カットを「しない」に指定していませんか？

自動カットを「しない」に指定すると、印刷後の自動カットは起こりません。

参照  P.39「印刷時の自動カットをやめる」


- 余白を「なし」に指定していませんか？

余白を「なし」に指定すると自動カットを「する」に設定していても自動的にカットされず、文章の前にカットマークが印刷されます。

参照  P.54「●余白」

- カッターの刃が磨耗していませんか？


カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げの販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.97「アフターサービスについて」


ファイルの内容が消えてしまった

- **電池がセットされていますか？**
登録したファイルや入力した文章の内容を保存しておきたいときは、電池(別売)を使用することをおすすめします。約4分以上、本機に電源が供給されないと、データがすべて失われることがあります。また、「電池を交換」が表示されたら、電池が消耗しています。すぐに新しい電池と交換してください。
- **電源が入った状態で電池を交換していませんか？**
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。
- **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われます。

ラベルを貼ることができない

- **裏紙をはがしていますか？**
裏紙をはがして貼ってください。
参照  P.38 「9.ラベルを貼る」
- **貼る場所が汚れていたり、凹凸があったりしませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼りつけられません。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照  P.97 「アフターサービスについて」

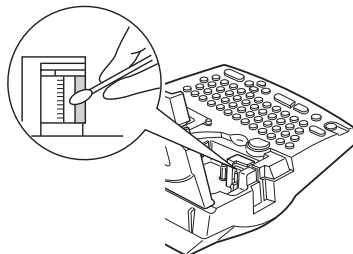
●お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりかすれたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ(SR18C)またはヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープを使う

⚠ 注意



使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。

保管



ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。



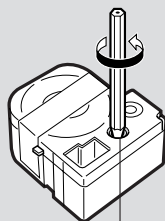
ヘッドクリーニングをおこなう

① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

② **シフト**を押したまま **印刷**を押し、「テープ送り」を1~2回おこなう

● 注意! ●

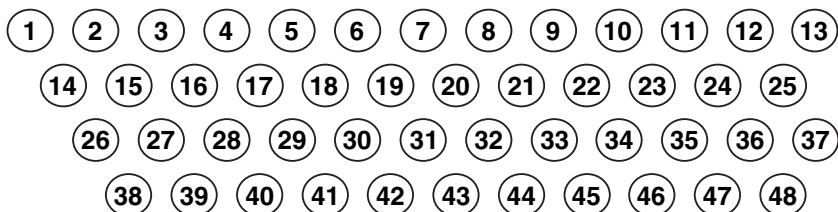
- 本機にはヘッド・クリーニングテープSR18Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように巻き取りコアを矢印方向に回してたるみをとってください。
- テープがすべて巻き取られたら、そのカートリッジは終了ですので、ご使用にならないでください。テープ終了後に使用すると印刷ヘッドを傷めるおそれがあります。
- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷がかけたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げの販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られていますので、新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。



巻き取りコア

●入力文字一覧表

文字ボタン配列



入力文字表

「大」は **シフト** を押していない状態、「小」は **シフト** を押した状態を表します。

ボタン No.	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@
3	3	#	あ	あ	3	#
4	4	\$	う	う	4	\$
5	5	%	え	え	5	%
6	6	&	お	お	6	&
7	7	'	や	や	7	'
8	8	*	ゆ	ゆ	8	*
9	9	(よ	よ	9	(
10	0)	わ	を	0)
11	¥	=	ほ	ほ	¥	=
12	^	^	へ	へ	^	^
13	-	-	-	-	-	-
14	Q	q	た	た	Q	q
15	W	w	て	て	W	w
16	E	e	い	い	E	e
17	R	r	す	す	R	r
18	T	t	か	か	T	t
19	Y	y	ん	ん	Y	y
20	U	u	な	な	U	u
21	I	i	に	に	I	i
22	O	o	ら	ら	O	o
23	P	p	せ	せ	P	p
24	~	÷	~	~	~	÷
25						

ボタン No.	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
26	A	a	ち	ち	A	a
27	S	s	と	と	S	s
28	D	d	し	し	D	d
29	F	f	は	は	F	f
30	G	g	き	き	G	g
31	H	h	く	く	H	h
32	J	j	ま	ま	J	j
33	K	k	の	の	K	k
34	L	l	り	り	L	l
35	:	+	れ	れ	:	+
36	:	×	け	け	:	×
37			む	む		
38	Z	z	つ	つ	Z	z
39	X	x	さ	さ	X	x
40	C	c	そ	そ	C	c
41	V	v	ひ	ひ	V	v
42	B	b	こ	こ	B	b
43	N	n	み	み	N	n
44	M	m	も	も	M	m
45	,	,	ね	,	,	,
46	。	。	る	。	。	。
47	/	?	め	?	/	?
48	.	.	ろ	.	.	.

注1： ボタンNo.24の「~」とボタンNo.25の「|」は単独では入力、印刷できません。前の文字が濁音、または半濁音対応の場合は「~」または「|」が入力でき、非対応の場合は「~」または「|」を入力します。

注2： ボタンNo.13で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字大、かな大、かな小は「-」（長音）

ローマ字小、ABC小は「-」（マイナス）

ABC大は「-」（ハイフン）

注3： ボタンNo.46の「。」はピリオドです。

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書もしくは、ワープロなどに付属している漢字変換表を参照してください。

参照 P.63 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

注意!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。

参照 P.63 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準 *の欄の数字は区点コードの下1桁を表わします。

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ア	1601~1609	亜啞娃阿哀愛挨始逢
	1610~1619	葵茜穉惡握渥旭葦芦鯨
	1620~1629	粹庠幹扱宛姐虻飴絢綾
	1630~1639	鮎或粟給安庵按暗案闇
	1640~1641	鞍杏
イ	1642~1649	以伊位依偉罔夷委
	1650~1659	威尉惟意慰易椅為畏異
	1660~1669	移維緯胃麥衣謂違遣医
	1670~1679	井亥域育郁磯一苧溢逸
	1680~1689	稲茨芋鰯久印咽員因姻
1690~1694	引飲淫胤胤	
1701~1705	院陰隱韻吋	
ウ	1706~1709	右宇烏羽
	1710~1719	迂雨卯鸚窺丑確白渦嘘
	1720~1729	唄鬱蔚媧姥尻浦瓜閏噂
	1730~1732	云運雲
	エ	1733~1739
1740~1749		曳榮永泳洩瑛盈穎穎英
1750~1759		衛詠銳液疫益駅悅謁越
1760~1769		閎榎厭圃園堰奄宴延怨
1770~1779		掩援沿演炎焰煙燕猿縁
1780~1786	艶苑菌遠鉛鴛塩	
オ	1787~1789	於汚甥
	1790~1794	凹央奥往応
	1801~1809	押旺横欧毆王翁襖鶯
	1810~1819	鴉黄岡冲荻億屋億臆桶
	1820~1827	牡乙俺卸恩温穩音
カ	1828~1829	下化
	1830~1839	仮何伽価佳加可嘉夏嫁
	1840~1849	家寡科暇果架歌河火珂
	1850~1859	禍禾稼箇花苛茄荷華菓
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
力	1860~1869	蝦課擘貨迦過霞蚊俄峨
	1870~1879	我牙画臥芽蛾賀雅餓駕
	1880~1889	介会解回塊壞廻快怪悔
	1890~1894	恢懷戒拐改
	1901~1909	魁晦械海灰界皆絵芥
	1910~1919	蟹開階貝凱効外咳害崖
	1920~1929	慨概涯碍蓋街該鑑骸湮
	1930~1939	馨蛭垣柿蛎鈎劃嚇各廓
	1940~1949	拡攪核格殻獲確穫覚角
	1950~1959	赫較郭閣隔革学岳楽額
	1960~1969	顎掛笠椹櫃棍鯁渴割喝
	1970~1979	恰括活渴滑葛褐轄且鯉
	1980~1989	叶枕樺鞆株兜窻蒲釜鎌
	1990~1994	啣鴨栢茅萱
	2001~2009	粥刈苻瓦乾冠寇寒刊
2010~2019	勘勸卷喚堪姦完官寛干	
2020~2029	幹感惑慣憾換敢柑桓棺	
2030~2039	款歛汗漢澗漶環甘監看	
2040~2049	竿管簡緩缶翰肝艦莞観	
2050~2059	諫貫還鑑間閑閑陥韓館	
2060~2069	館丸含岸巖玩癖眼岩翫	
2070~2074	贗雁頑頑願	
キ	2075~2079	企伎危喜器
	2080~2089	基奇嬉寄岐希幾忌揮机
	2090~2094	旗既期棋棄
	2101~2109	機帟殺気汽畿祈季稀
	2110~2119	紀徽規記貴起軌輝飢騎
	2120~2129	鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺
	2130~2139	犧疑祗義蟻誼誹掬菊鞠
	2140~2149	吉吃喫桔橘詰砧砧黍却
	2150~2159	客脚虐逆丘久仇休及吸
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
キ	2160~2169	宮弓急救朽求汲泣灸球	
	2170~2179	究窮笈級糾給旧牛去居	
	2180~2189	巨拒拋拳渠虛許距鋸漁	
	2190~2194	禦魚享享京	
	2201~2209	供俠僑兇競共凶協匡	
	2210~2219	卿叫喬境峽強彊怯恐恭	
	2220~2229	扶教橋況狂狹矯胸脅興	
	2230~2239	蕎鄉鏡響饗驚仰凝堯曉	
	2240~2249	業局曲極玉桐秆僅勤均	
	2250~2259	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊	
	2260~2268	芹菌袴謹謹近金吟銀	
	2269	九	
	ク	2270~2279	俱匂区狗狄矩苦軀驅駟
2280~2289		駒具愚虞喰空偶寓遇隅	
2290~2294		串櫛釧屑屈	
2301~2309		掘窟沓靴轡窪熊隈糸	
2310~2319		栗繰桑欽歟君薰訓群軍	
2320		郡	
ケ		2321~2329	卦袈祁係傾刑兄啓圭
		2330~2339	珪型契形徑患慶慧懇揭
		2340~2349	携敬景桂溪畦稽系經繼
		2350~2359	繫野荃荊筭計詣警輕頸
	2360~2369	鷄芸迎鯨劇戟擊激隙桁	
	2370~2379	傑欠決潔穴結血訣月件	
	2380~2389	儉倦健兼券劊喧圍堅嫌	
	2390~2394	建憲懸拳捲	
	2401~2409	檢榷牽犬獻研硯絹梟	
	2410~2419	肩見謙賢軒遣鍵險頸驗	
コ	2420~2429	缺元原蔽幻弦減源玄現	
	2430~2434	絃絃言諺限	
	2435~2439	乎個古呼固	
	2440~2449	姑孤己庫孤戶故枯湖狐	
	2450~2459	糊袴股葫菰虎誇跨鈷屨	
	2460~2469	顧鼓五互伍午吳吾娛後	
	2470~2479	御悟梧檣瑚碁語誤護鬪	
	2480~2489	乞鯉交佼侯候倖光公功	
	2490~2494	効勾厚口向	
	2501~2509	后喉坑坳好孔孝宏工	
2510~2519	巧巷幸広庚康弘恒慌抗		
2520~2529	拘控攻昂晃晃杭校梗構		
2530~2539	江洪浩港滯甲皇硬稿糠		
2540~2549	紅絃絞綱耕考肯肱腔膏		
2550~2559	航荒行衡講貢購郊酵鉞		
2560~2569	砒鋼閣降項香高鴻剛劫		
2570~2579	号合壕拷濠豪轟趨克刻		
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
コ	2580~2589	告国穀酷鵠黒獄澆腰甌
	2590~2594	忽惚骨伯込
サ	2601~2609	此頃今困坤嬖婚恨懇
	2610~2618	昏昆根樹混痕紺良魂
	2619	些
	2620~2629	佐又峻嵯左差查沙磋砂
	2630~2639	詐鎖娑坐座挫債催再最
	2640~2649	哉塞妻宰彩才採裁歲濟
	2650~2659	災采犀碎砦祭齋細業裁
	2660~2669	載際劑在材罪財冨坂阪
	2670~2679	堺榭肴咲崎埼碯碯作削
	2680~2689	咋搾昨朔柵窄策索錯桜
シ	2690~2694	鮭笹匙册刷
	2701~2709	察拶撮擦札殺薩雜阜
	2710~2719	鯖捌銷鮫皿晒三傘參山
	2720~2729	慘撒散棧燦珊瑚産算纂蚕
	2730~2736	讚賛酸餐斬暫残
	2737~2739	仕仔伺
	2740~2749	使刺司吏嗣四士始姉姿
	2750~2759	子屍市師志思指支孜斯
	2760~2769	施旨枝止死氏獅祉私糸
	2770~2779	紙紫肢脂至視詞詩試誌
2780~2789	諮資賜雌飼鹵事似侍児	
2790~2794	字寺慈持時	
2801~2809	次滋治爾璽痔磁示而	
2810~2819	耳自蒔薛汐鹿式識鳴竺	
2820~2829	軸穴零七叱執失嫉室悉	
2830~2839	湿漆疾質突蔀篠篋柴芝	
2840~2849	屢蕊縞舍写射捨捨斜煮	
2850~2859	社紗者謝車遮蛇邪借勺	
2860~2869	尺杓灼爵酌积錫若寂弱	
2870~2879	惹主取守手朱殊狩珠種	
2880~2889	腫趣酉首儒受呪寿授樹	
2890~2894	綬需囚収周	
2901~2909	宗就州修愁拾洲秀秋	
2910~2919	終繡習臭舟蒐衆襲讐蹴	
2920~2929	輯週首酬集醜什住充十	
2930~2939	從戎柔汁泐獸縱重銃叔	
2940~2949	夙宿淑祝縮肅熟熱出術	
2950~2959	述俊峻春隣竣舜駿准循	
2960~2969	旬楯殉淳準潤盾純巡遵	
2970~2979	醇順処初所暑曙者庶緒	
2980~2989	署書薯薯諸助叙女序徐	
2990~2994	恕鋤除傷償	
3001~3009	勝匠升召哨商唱嘗獎	
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
シ	3010~3019	妾娼宵将	少	尚	庄	床	廠					
	3020~3029	彰承抄招	掌捷昇	昌	昭	晶						
	3030~3039	松梢樺樵	沼消涉	湘	燒	焦						
	3040~3049	照症省硝	確祥称	章	笑	粧						
	3050~3059	紹肖菖蔣	蕉衝裳	訟証詔								
	3060~3069	詳象賞醬	鉦鍾鐘	障鞘上								
	3070~3079	丈丞乘冗	剩城場	壤嬢常								
	3080~3089	情擾条杖	淨状豊	穰蒸讓								
	3090~3094	釀錠囁埴	飾									
	3101~3109	拭植殖燭	織職色	蝕食								
	3110~3119	蝕辱尻伸	信侵唇	娠寝審								
	3120~3129	心慎振新	晋森榛	浸深申								
	3130~3139	疹真神秦	紳臣苾	薪親診								
	3140~3149	身辛進針	震人仁	刃塵壬								
	3150~3157	尋甚尽腎	訊迅陣	朝								
ス	3158~3159										笥諷	
	3160~3169	須醉凶厨	逗吹垂	帥推水								
	3170~3179	炊睡粹翠	衰遂醉	錘錘隨								
	3180~3189	瑞髓崇高	數枢趨	雛据杉								
	3190~3194	相菅頗雀	裾									
	3201~3203	澄摺寸										
	セ	3204~3209		世瀬畝	是凄制							
		3210~3219	勢姓征性	成政整	星晴棲							
		3220~3229	栖正清牲	生盛精	聖声製							
		3230~3239	西誠誓請	逝醒青	静斉稅							
3240~3249		脆隻席惜	戚斥昔	析石積								
3250~3259		籍績脊責	赤跡蹟	碩切拙								
3260~3269		接撰折設	窃節說	雪絶舌								
3270~3279		蟬仙先千	占宣專	尖川戰								
3280~3289		扇撰栓梅	泉浅洗	染潜煎								
3290~3294		煽旋穿箭	線									
3301~3309		織羨腺外	船薦詮	賤踐								
3310~3319		選選錢銑	閃鮮前	善漸然								
3320~3324		全禪繕膳	裡									
ソ		3325~3329		噌塑咀措	會							
		3330~3339	曾楚狙疏	礎祖祖	粗素							
	3340~3349	組蘇訴阻	遡鼠僧	創双叢								
	3350~3359	倉喪壯奏	爽宋層	匝惣想								
	3360~3369	搜掃挿搔	操早曹	菓檜槽								
	3370~3379	漕燥争瘦	相窓糟	綜綜聰								
	3380~3389	草莊葬蒼	藻裝走	送遭鎗								
	3390~3394	霜騷像增	憎									
	3401~3409	臟藏贈造	促側則	即息								
	3410~3419	捉束測足	速俗属	賊族統								
3420~3429	卒袖其揃	存孫尊	損村遜									

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
夕	3430~3439	他多太汰	訖唾墮	妥惰打								
	3440~3449	柁舵橈陀	馱驂体	堆对耐								
	3450~3459	岱帶待怠	態戴替	泰滯胎								
	3460~3469	腿苔袋貸	退逮隊	黛鯛代								
	3470~3479	台大第醒	題鷹瀧	澆卓啄								
	3480~3489	宅托挾拓	沢濯琢	託鐸濁								
	3490~3494	諾茸風蛸	只									
	3501~3509	叩但達	辰奪脱	巽豎迪								
	3510~3519	棚谷狸鱈	樽誰丹	单嘆坦								
	3520~3529	担探旦歎	淡滓炭	炭短筆								
	3530~3539	綻耽胆蛋	誕鍛团	壇彈斷								
	3540~3544	暖擅段男	談									
	チ	3545~3549		值知地	弛恥							
		3550~3559	智池痴稚	置致痴	遲馳築							
		3560~3569	畜竹筑蓄	逐秩空	茶矯着							
3570~3579		中仲宙忠	抽昼柱	注虫衷								
3580~3589		註酎錡駐	楞猪稽	孛著貯								
3590~3594		丁兆凋喋	籠									
3601~3609		帖帳庁弔	張彫徵	懲挑								
3610~3619		暢朝潮濶	町眺聰	脹腸蝶								
3620~3629		調課超跳	銚長頂	鳥勅抄								
3630~3636		直朕沈珍	賃鎮陳									
ツ	3637~3639		津墜椎									
	3640~3649	槌追錘錘	通塚母	榎楓佃								
	3650~3659	漬柘辻	葛綴鏝	鍔漬坪	壺							
	3660~3665	孀紬八吊	釣鶴									
	テ	3666~3669		亭低停	偵							
		3670~3679	剃貞呈堤	定帝底	廷弟							
		3680~3689	悌抵挺提	梯汀碇	程縉							
		3690~3694	艇訂諦蹄	通								
		3701~3709	邸鄭釘鼎	泥摘擢	敵滴							
		3710~3719	的笛適	鎗溺哲	徹撤轍	迭						
3720~3729		鉄典填天	展店添	繡甜貼								
3730~3737		軫顛点伝	殿澱田	電								
3738~3739			兎吐									
3740~3749		堵塗妬屠	徒斗杜	渡登菟								
3750~3759	賭途都鍍	砥砺努	度土奴									
3760~3769	怒倒党冬	凍丁唐	塔塘糖									
3770~3779	宕島嶋悼	投投搭	東桃棒	棟								
3780~3789	盜淘湯涛	灯燈当	痘痔等									
3790~3794	答筒糖統	到										
3801~3809	董蕩藤討	膽豆踏	逃透									
3810~3819	鐙陶頭騰	關働動	同堂導									
3820~3829	懂撞洞瞳	童胴苟	萄道銅	峠								
3830~3839	鴿匿得德	洩特督	禿篤毒									

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ト	3840~3849	独読栞椽凸突椴届鳶苦
	3850~3859	寅酉滯噸屯惇敦沌豚遁
	3860~3863	頓吞曇鈍
ナ	3864~3869	奈那内乍凧雞
	3870~3879	謎灘捺鍋柄繩暇南楠
	3880~3882	軟難汝
ニ	3883~3889	二尼忒迺匂賑肉
	3890~3894	虹廿日乳入
ヌ	3901~3907	如尿管任妊忍認
	3908	濡
ネ	3909	襦
	3910~3919	祢寧葱猫熱年念捻撚燃
	3920	粘
ノ	3921~3929	乃迺之埜囊惱濃納能
	3930~3934	腦膿農覗蚤
ハ	3935~3939	巴把播霸杷
	3940~3949	波派琶破婆罵芭馬俳廢
	3950~3959	拜排敗杯盃牌背肺輩配
ヒ	3960~3969	倍培媒梅媒煤猥買壳賸
	3970~3979	陪這蠅秤矧萩伯剝博拍
	3980~3989	柏泊白箔柏舶薄迫曝瀑
フ	3990~3994	爆縛莫駁麥
	4001~4009	函箱裕箸肇筭爐幡肌
	4010~4019	畑畠八鉢澆澆醜髮伐罰
ク	4020~4029	拔筏闊鳩擲塙蛤隼伴判
	4030~4039	半反叛帆搬斑板汜汎版
	4040~4049	犯班畔繁檠藩販範爰煩
ケ	4050~4058	頌飯挽晩番盤磬審蚤
	4059	匪
	4060~4069	卑否妃庇彼悲扉批披斐
コ	4070~4079	比泌疲皮碑秘緋罷肥被
	4080~4089	誹費避非飛樋箠備尾微
	4090~4094	枇毘琵琶眉美
カ	4101~4109	鼻柎稗匹疋髭彦膝菱
	4110~4119	肘弼必畢畢逼桧姫媛紐
	4120~4129	百謬佞彪標水漂瓢票表
キ	4130~4139	評豹廟描病秒苗鉤鉾蒜
	4140~4149	蛭鱗品彬斌浜瀨貧賓頰
	4150~4151	敏瓶
ク	4152~4159	不付埤方婦富富布
	4160~4169	府怖扶敷斧普浮父符腐
	4170~4179	膚芙譜負賦赴阜附侮撫
ケ	4180~4189	武舞葡燕部封楓風茸落
	4190~4194	伏副復幅服
	4201~4209	福腹複覆淵弗弘沸仏
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
フ	4210~4219	物鮎分吻噴墳憤扮焚奮
	4220~4225	粉糞紛雰文聞
	4226~4229	丙併兵塀
ヘ	4230~4239	幣平弊柄並蔽閉陞米頁
	4240~4249	僻壁癖碧別瞥篋篋偏變
	4250~4259	片篇編邇返遍便勉婉弁
ホ	4260	鞭
	4261~4269	保舖鋪圃捕步甫補輔
	4270~4279	穗募墓慕戍暮母簿菩倣
マ	4280~4289	俸包呆報奉宝峰峯崩庖
	4290~4294	抱捧放方朋
	4301~4309	法泡烹砲縫胞芳萌蓬
ミ	4310~4319	蜂褒訪豊邦鋒鮪鳳鵬乏
	4320~4329	亡傍剖坊妨帽忘忙房暴
	4330~4339	望某棒冒紡肪諱謀貌貿
ム	4340~4349	鉦防吠頰北僕卜墨撲朴
	4350~4359	牧睦穆鈿勃沒殆堀幌奔
	4360~4363	本翻凡益
メ	4364~4369	摩磨魔麻埋妹
	4370~4379	味枚每哩楨幕臈枕鮪枉
	4380~4389	鱗櫛亦僕又抹末沫迄俣
モ	4390~4394	爾磨万慢滿
	4401~4402	漫漫
	4403~4409	味末魅巳箕岬密
ム	4410~4418	蜜湊蓑稔脈妙耗民眠
	4419	務
	4420~4428	夢無牟矛霧鷓棕婿娘
メ	4429	冥
	4430~4439	名命明盟迷銘鳴姪牝滅
	4440~4445	免棉綿綿面麵
モ	4446~4449	摸模茂妄
	4450~4459	孟毛猛盲網耗蒙儲木默
	4460~4469	目空勿餅尤戾初貫問悶
ヤ	4470~4472	紋門匄
	4473~4479	也冶夜爺迷銘鳴姪牝滅
	4480~4489	矢厄役約葉訊躍靖柳藪
ユ	4490	鏹
	4491~4494	愉愈油癒
	4501~4509	論輸唯佑優勇友宥幽
ヨ	4510~4519	悠憂揖有柚湧猶猶猷由
	4520~4528	祐裕誘遊邑郵雄融夕
	4529	予
コ	4530~4539	余与譽輿預備幼妓容庸
	4540~4549	揚搖擁曜楊樣洋浴熔用
	4550~4559	窯羊耀耀蓉要謡謡遙陽
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
ヨ	4560~4568	養慾抑欲沃浴翌翼浞	
	ラ	4569	羅
	4570~4579	螺裸来萊頼雷洛絡落酪	
	4580~4587	乱卵嵐欄濼藍蘭覽	
	リ	4588~4589	利史
ル	4590~4594	履李梨理璃	
	4601~4609	痢裏裡里離陸律率立	
	4610~4619	莅掠略劉溜琉留硫粒	
	4620~4629	隆竜龍侶旅虜了亮僚	
	4630~4639	両凌寮料梁涼獵療瞭稜	
	4640~4649	糧良諒遼量陵領力緑倫	
	4650~4659	厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟	
	4660~4664	瑠墨涙累類	
	レ	4665~4669	令伶例冷励
	4670~4679	嶺伶玲礼苓鈴隸零靈麗	
ロ	4680~4689	齡曆歴列劣烈裂廉恋隣	
	4690~4694	漣煉簾練聯	
	4701~4703	蓮連鍊	
	4704~4709	呂魯櫓妒路路	
	4710~4719	露勞婁廊弄朗楼榔浪漏	
ワ	4720~4729	牢狼箠老聾蠟郎六麓祿	
	4730~4732	肋録論	
	4733~4739	倭和話歪賄脇惑	
ヲ	4740~4749	榨鶯互亘鰐託藁蕨惋湾	
	4750~4751	碗腕	
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区	区点コード
48	07 10 11 14 17 19 22 28 37 39 42 44 45 46 47
	井乖乘彦式亞元仄伏佛佇修侈佻佻
	50 52 54 57 58 66 70 71 77 82 83 85 89 90 94
49	03 06 07 08 11 13 19 20 27 28 30 45 53 56 59
	侑來儘俎倅侶倅倅俯會偈儂儂儂儂
	60 61 62 64 66 67 70 73 74 75 78 79 82 84 87
50	01 06 14 19 21 22 28 32 36 43 45 46 50 54 55
	辦勁勳匄匄匄匄匄匄匄匄匄匄匄匄匄匄匄匄
	56 63 67 69 71 74 75 76 81 82 84 86 89 91 92
51	03 04 12 13 14 21 23 25 29 34 35 37 38 40
	咤咤咤哭哺啜啜啜啜啜啜啜啜啜啜啜啜
	43 44 45 46 47 48 50 60 61 62 65 66 68 80 81
52	82 83 89 91
	囀囀囀囀囀囀囀囀囀囀囀囀囀囀囀囀
	01 02 04 05 06 07 10 14 27 28 31 37 43 44 47
53	01 04 10 16 17 20 22 24 25 27 28 30 31 33 34
	奸佞姜娑娜婀婉媿婢媚嫵嫵嫵嫵嫵嫵
	40 43 45 46 48 48 52 57 59 60 65 68 73 74 75
54	76 79 82 83 84 88 91 93 94
	窈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈嬈
	02 08 10 21 23 26 30 34 37 40 53 54 62 64 65
55	71 72 73 76 80 83 91
	屏屹岾峙峽峽峽峽峽峽峽峽峽峽峽峽峽峽峽
	02 12 15 24 28 29 30 34 35 39 41 42 43 47 49
56	01 02 06 07 08 09 10 12 19 21 25 32 33 35 38
	廣廳廸弩彈彌彎彗彗彗彗彗彗彗彗彗彗彗彗
	40 43 44 45 47 54 61 62 63 64 65 66 67 69 70
57	71 73 77 80 82 88 92
	懷懇權懣懣懣懣懣懣懣懣懣懣懣懣懣懣懣
	03 04 05 06 08 14 15 17 19 22 25 29 33 34 36
58	37 38 39 40 41 42 47 48 49 51 52 60 61 64 68
	截戮戰戲扁扨扼抉扨拔拗拿拜拏拏拏拏
	70 72 73 74 78 80 83 85 88 91 94
59	03 05 19 21 27 28 32 38 42 43 48 53 57 62 66
	搯擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡擡
	67 69 71 74 76 79 80 82 84 85 86 92
60	03 09 10 11 15 16 20 21 25 30 32 38 40 45 56
	暖日曳曷朦朧朧朧朧朧朧朧朧朧朧朧朧
	57 58 64 69 70 71 73 74 76 80 81 89 94
	菜框梳梟梟梟梟梟梟梟梟梟梟梟梟梟梟梟

区	区点コード																												
60	03	05	07	10	11	20	23	24	31	32	38	39	40	49	52	57													
	橘	椒	粟	棹	棠	楫	楔	椰	榆	桀	槐	楹	檟	檉	檟	檉													
61	01	02	03	04	06	08	11	13	15	18	21	25	39	51	51														
	檉	藥	檻	檉	檉	檉	檉	檉	檉	檉	檉	檉	檉	檉	檉														
62	05	06	07	11	13	15	17	20	23	24	25	26	28	33	34														
	泪	洩	衍	洸	洵	洵	浣	浣	浣	浣	浣	浣	浣	浣	浣														
63	07	23	24	26	28	32	34	38	41	44	45	47	49	53	54														
	滌	澤	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄														
64	55	57	58	61	64	65	66	68	69	70	74	76	78	81	83														
	烟	炬	炸	烟	烙	焉	烽	焙	煥	煥	煌	煬	燠	燠	燠														
65	01	11	16	17	20	35	36	38	40	47	51	52	53	54	55														
	氫	甄	堯	堯	甞	甞	壘	疝	疝	疽	疽	疔	疔	疔	疔														
66	01	03	11	14	18	19	24	25	30	33	35	39	40	43	44														
	癩	癩	皃	皃	皃	皃	皃	皃	皃	皃	皃	皃	皃	皃	皃														
67	01	06	09	10	11	12	14	16	17	19	20	23	24	25	38														
	磧	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪														
68	03	05	06	07	10	14	15	18	21	22	23	27	31	32	33														
	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍														
69	49	51	52	55	63	65	71	72	82	85	86	90	92																
	縣	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳	絳														
70	11	17	19	20	23	25	29	30	38	39	42	44	45	46															
	籬	畏	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈														
71	01	03	05	07	15	17	20	25	26	29	30	33	34	37	42														
	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍														
72	02	06	07	11	12	17	23	24	29	33	53	63	80	81	84														
	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴	茴														

区	区点コード																													
73	01	02	03	08	10	11	12	14	15	18	20	22	26	27	30															
	蕁	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪	藪															
74	02	04	05	07	09	11	15	18	20	21	24	27	33	42																
	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅	蠅															
75	01	07	25	30	34	35	36	38	39	42	44	46	47	48	54															
	襦	襦	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴															
76	02	05	06	08	09	10	17	18	27	34	37	40	42	45	46															
	譬	譬	讀	讎	讎	讎	讎	讎	讎	讎	讎	讎	讎	讎	讎															
77	02	06	09	13	15	16	20	21	22	24	28	31	34	49	50															
	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉	蹉															
78	16	17	18	20	21	22	23	24	25	33	36	41	44	45	46															
	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈															
79	05	10	11	15	17	20	24	36	41	43	44	47	51	56	57															
	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢															
80	07	08	10	15	21	24	25	27	36	39	40	43	46	48	53															
	隘	隘	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險															
81	04	05	06	08	11	13	14	18	20	22	27	28	29	33	37															
	嵐	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯	颯															
82	03	04	06	10	16	17	18	19	20	21	25	26	29	31	35															
	覺	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚	鬚															
83	45	47	48	52	53	54	55	56	57	59	62	64	65	69	71															
	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨															
84	01	02	03																											
	堯	堯	遙																											



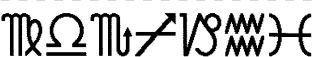

非JIS漢字

文字上の数字はコードの下2桁を表わします。

	コード																												
85	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15														
	鷗	葛	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩														
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29															
	酸	崎	菜	濱	高	吉	構	昇	舩	舩	舩	舩	舩	舩															

分類	記号
2桁数字	2桁数字(00 10 20 30 40 50 60 70 80 90) 00番台(00～09), 10番台(10～19), 20番台(20～29), 30番台(30～39), 40番台(40～49), 50番台(50～59), 60番台(60～69), 70番台(70～79), 80番台(80～89), 90番台(90～99),
公共用	
環境	
荷物	
警告用	
仕事	
スポーツ	
遊び	
ビデオ	
音楽	

分類	記号
生き物	
乗り物	
食べ物	
予定	
暮らし	
シーズン	
家族	

分類	記号
干支	
星座	 
ギリシャ	<p>ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨ</p> <hr/> <p>Ωαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψω</p>
欧州	<p>äëïöüÄËÏÖÜáéíóúÁÉÍÓÚàèìòù</p> <hr/> <p>ÀÈÌÒÙâêîôûÂÊÎÔÛñÑßÇçŒœ¿;ı</p>
編集	

●外枠一覧表

●注意!

外枠一覧表の外枠と印刷される外枠の結果が異なるものがあります。

1		16		31		46		61	
2		17		32		47		62	
3		18		33		48		63	
4		19		34		49		64	
5		20		35		50		65	
6		21		36		51		66	
7		22		37		52		67	
8		23		38		53		68	
9		24		39		54		69	
10		25		40		55		70	
11		26		41		56		71	
12		27		42		57		72	
13		28		43		58		73	
14		29		44		59		74	
15		30		45		60		75	

ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU QU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ FU HU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI I	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん	ん N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」) (例) N+N→ん N+P→んP N+'」→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ JI ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
ぎゃ	ぎゃ KYA	ぎい KYI	ぎゆ KYU	ぎえ KYE	ぎよ KYO
しゃ	しゃ SHA SYA	しい SHI SYI	しゆ SHU SYU	しえ SHE SYE	しよ SHO SYO
ちゃ	ちゃ CHA CYA	ちい CHI CYI	ちゆ CHU CYU	ちえ CHE CYE	ちよ CHO CYO
てゃ	てゃ THA	てい THI	てゆ THU	てえ THE	てよ THO
にゃ	にゃ NYA	にい NYI	にゆ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひゃ	ひゃ HYA	ひい HYI	ひゆ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
みゃ	みゃ MYA	みい MYI	みゆ MYU	みえ MYE	みよ MYO

りゃ	りゃ RYA	りい RYI	りゆ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゆ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	じゃ JA JYA	じい JZI JYI	じゆ JZU JYU	じえ JZE JYE	じよ JZO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゆ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びゃ	びゃ BYA	びい BYI	びゆ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゆ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
くぁ	くぁ QA	くい QI QWI KWI	くう QWU KWU	くえ QWE KWE	くお QO QWO KWO
ぐわ		ぐい GWI	ぐう GWU	ぐえ GWE	ぐお GWO
つぁ	つぁ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でゃ	でゃ DHA	でい DHI	でゆ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふい FI FYI		ふえ FE FYE	ふお FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふい FYI FI	ふゆ FYU	ふえ FYE FE	ふよ FYO
づぁ	づぁ VA	づい VI VYI	づう VU	づえ VE VYE	づお VO
づゃ	づゃ VYA		づゆ VYU		づよ VYO
ぁ	ぁ LA	い LI LYI	う LU	え LE LYE	お LO
か	か LKA			け LKE	
っ	っ LTU 同一の子音+子音=っ+子音 (L、N、X以外有効) 二重子音CHについては、 TCH=っCHに変換。				
ゃ	ゃ LYA		ゆ LYU		よ LYO
? -	かな文字に長音記号をつけるには 「かな文字」+◎ ? = かな文字				

●おもな仕様

■入力

入力装置	JIS 配列準拠キーボード式 (67鍵) 文字ボタン48、機能ボタン19
入力状態	JIS 配列準拠ローマ字入力 JIS 配列準拠かな入力 JIS 配列準拠ABC 入力 小文字入力、小文字ロック、記号入力 コード変換入力(区点コード・JISコード・シフトJISコード)
漢字変換方式	学習機能付最長一致逐次変換方式 熟語変換辞書 約63,250語 単漢字変換辞書 約10,180語 (単漢字学習容量 約30語) (熟語学習容量 約20語)

■表示

表示装置	ドットマトリクスTN液晶パネル
文字表示	16dot × 16dot × 4chr × 2line
インジケータ	18個

■記憶

文書メモリー	約60文字(限定バックアップ付)
内蔵ファイル	約60文字／1ファイル

■フォント

内蔵文字数	全5249文字 漢字JIS第1水準2965文字 漢字JIS第2水準1121文字 JIS外29文字 ひらがな・カタカナ192文字 英数字・記号・その他942文字
内蔵フォント	ビットマップフォント 明朝体フォント : 和文書体・英数書体 ゴシック体フォント : 和文書体・英数書体 スク립トBR体フォント : 英数書体

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
ヘッド構成	薄膜サーマルヘッド(64dot、180dpi)
テープ幅検出	Pテープ規格検出孔対応 4素子16種検出(使用可能テープ幅5種)
テープカートリッジ	Pテープ規格ワнтаイム・テープカートリッジ たるみ・逆転防止機構付 耐摩擦PRO印刷式
カッター	4・6・9・12・18mm幅 本機内蔵自動直線せん断

■使用条件

温度環境	動作時 10℃～35℃ 保存時 -10℃～55℃
湿度環境	動作時 30%～80%(非結露) 保存時 80%以下(非結露)

■印刷機能

文字構成

5段階
P字 16 × 16dot (6 ポイント相当)
S字 24 × 24dot (10 ポイント相当)
M字 32 × 32dot (13 ポイント相当)
L字 48 × 48dot (19 ポイント相当)
G字 60 × 60dot (24 ポイント相当)
※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

縦・横

よこ書き、たて書き

文字サイズ

1行=大・中・小・細
2行=大大・大小・小大・小小

編集

書体:	(和文書体)明朝体、ゴシック (英数字書体)自動、明朝体、ゴシック、BR体
飾り字:	ふつう、白抜、影、強調、斜体
枠・表:	なし、表組み01～04(4種)、外枠01～75(75種)
文字間:	ふつう、密着
割付け:	前揃え、中揃え、割付け、後揃え
定長印刷:	しない、MD、音楽テープ、ミニDV、8mmビデオ、VHS、 FD/MO、B5ファイル、A4ファイル、1.8cm～50cm
余白:	あり、なし
鏡文字:	鏡像、しない

印刷濃度

－3、－2、－1、ふつう、＋1、＋2、＋3(7段階)

表示濃度

－5、－4、－3、－2、－1、ふつう、＋1、＋2、＋3、＋4、＋5(11段階)

保存値

縦・横、文字サイズ、編集(リセット付)

■電源、その他

主電源

AC100V(同梱ACアダプタAC0615J 使用のこと)

補助バッテリー

単3 アルカリ乾電池×6(別売)

電源スイッチ

ボタン式

パワーオフ

操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする

寸法・重量

約171W × 191D × 55H (mm)
約500g(電池、テープカートリッジを除く)

同梱品

試用テープカートリッジ
ACアダプタ(AC0615J)
取扱説明書
保証書

オプション

PRO テープカートリッジ
ヘッド・クリーニングキット(RC15)
ヘッド・クリーニングテープ(SR18C)
トリマー(RT36W)
ハーフカッター(RH24)
システムバッグ(SR8B)
システムトランク(SR9BTN)

索引

英数字/記号

(カーソル)	19、40
⊙ ⊙ ⊙ ⊙ (カーソルボタン)	18、40
Ⓜ (録入力記号)	35、52、88
◀ (フルメモリーマーク)	19、41
○△□ (記号)	85
1 2 (行頭マーク)	19、42
☒ (印刷不可行頭マーク)	19、42
1行文字サイズ	45
2行文字サイズ	45
2桁数字 (記号)	47、86
ABCインジケター	19
ACアダプタ	1、11、20
～差込み口	16
BR体 (英数書体)	50、51
JISコード	63、79
PROテープカートリッジ	4、8
RC15	9、77
RH24	9
RT36W	9
SR9BTN	9
SR18C	9、77
- (ハイフン)	78
@ (アットマーク)	78
Ⓜ (電源ボタン)	11、18、24、26
Ⓜ (プレビューボタン)	12、17、36
あ	
アイロンラベル	72
遊び (記号)	86
後 (割付け)	50、53、55
後揃え (割付け)	53、55
アフターサービス	97
あり (余白)	51、54
アルファベット変換	18、32
安全上のご注意	1
生き物 (記号)	87
移動 (行)	44
印刷 (印刷ボタン)	12、17、37
印刷	37
～イメージ	36
～できる行数	42
～濃度 (環境設定)	64、65
インジケター	19

上カバー	16、22
～つまみ	16、22
上付・下付数字	33、85
英数字	32
英数書体	50、51
干支 (記号)	88
エラーメッセージ	73
欧州 (記号)	88
オート・パワーオフ	24、73
お手入れ	77
オプション	9
音楽 (記号)	86


か

カーソル	19、40
カーソルボタン	18、40
改行	42、43、44
回収 (テープカートリッジ)	4、23
鏡文字 (編集)	51、54、55
～インジケター	19
各部の名前	16
影 (飾り字)	50、52
飾り字 (編集)	50、52、55
～インジケター	19
家族 (記号)	87
カタカナ	29
カッコ (記号)	85
カッター	3、75
～の取り替え	39、75
カット (環境設定)	64
～マーク (余白)	54
かなインジケター	19
環境 (環境ボタン)	17、64
環境 (記号)	86
環境設定	64
～メニュー一覧	64
漢字	31、63
～の読みを短くする (読み短縮)	31
漢字変換表	79
記号 (記号ボタン)	17、35
記号	35
～一覧表	85
記述 (記号)	85
決まった長さのラベルを作る (定長印刷)	51、57


行	
新しい～を作る	43
～数オーバー(表示)	36、37、73
～を変更する	44
鏡像(鏡文字)	51、54、72
強調(飾り字)	50、52
行頭マーク	19、42、44
行表示インジケーター	19
ギリシャ(記号)	88
切る(電源)	26
区点コード	63、79
暮らし(記号)	87
クリーニングテープ	9、77
警告(安全上のご注意)	1
警告用(記号)	86
罫入力記号	35、52、88
公共用(記号)	86
コード入力(コード変換)	63
ゴシック(英数書体)	50、51
ゴシック(和文書体)	50、51
故障かな?と思ったら	74
固定フック	16、22
小文字	30
～インジケーター	19
～ロック	18、33



さ






 (サイズボタン)	17、45
削除	41
行を～	44
文章を～	41
文字を～	41
 (削除/取消ボタン)	17、41
算数(記号)	85
シーズン(記号)	87
仕事(記号)	86
自動(英数書体)	50、51
自動カット(環境設定)	64
～をやめる	39
しない(鏡文字)	51、54
 (シフトボタン)	17、18
シフトJISコード	63、79
斜体(飾り字)	50、52
準備	20
仕様	91
消去	17、41
行を～	44
文章を～	41
文字を～	41
上質紙ラベル	72

省略(記号)	85
初期化	70
初期値	66
書体(編集)	50、51、55
～インジケーター	19
白抜(飾り字)	50、52
伸縮ラベル	72
数字(記号)	85
スペース	34
スポーツ(記号)	86
星座(記号)	88
正像(鏡文字)	54
セット	
テープカートリッジを～	22
電池を～	20
全角スペース	34、88
 (選択/改行ボタン)	18、43
全文消去	41
操作パネル	16、17
挿入	41
促音	30
外枠(枠・表)	50、52
～一覧表	89

た

濁音	30
たて書き	13、46
～2桁数字	47
たて書インジケーター	19、46
 (縦・横ボタン)	17
縦・横	46
食べ物(記号)	87
単位(記号)	85
注意(安全上のご注意)	1
カッターの～	3
その他の～	2、3、5
テープカートリッジの～	4
テープカートリッジを	
セットするときの～	4
電池の～	1
ディスプレイ	16、19
～のエラー表示	73
～の見かた	19
～濃度(環境設定)	65
定長(編集)	51、53、55、57
～印刷	57
～インジケーター	19

テープ	
～送り	5、11、17
～送りをする	25
～確認窓	16
～通路	16、23
～取出し口	16
～幅	42
テープカートリッジ	4、11、22
～ケース	16
～の回収	4、23
～の取り出しかた	23
～のリユース(再利用)	4
～をセットする	22
「テブラ」で得られるラベル	3、72
「テブラ」本機	8
デモ印刷	68
電源	
～を入れる	24
～を切る	26
 (電源ボタン)	11、18、24、26
転写テープ	72
電池	20
～カバー	16、21
～ケース	16
同梱品	8
透明つや消しラベル	72
特長	10
取り替え	
カッターの～	39
トリマー	9
な	
中(割付け)	50、53、55
中揃え(割付け)	53、55
なし(余白)	51、54
荷物(記号)	86
 (入力切替ボタン)	18、29
入力文字一覧表	78
ネガ文字	19
熱収縮チューブ	72
乗り物(記号)	87
は	
ハーフカッター	9
半角スペース	34
反射ラベル	72
半濁音	30
ハンドル	16
ビデオ(記号)	86
表組み(枠・表)	50、52

表示濃度(環境設定)	64、65
ひらがな	29
 (ファイルボタン)	17、60
ファイル	60
～入換	62
～登録	60
～呼出	61
～を入れ換える	62
～を呼び出す	61
ふせん紙ラベル	72
ふつう(飾り字)	50、52
ふつう(文字間)	50、53
フルメモリーマーク	19、41
 (プレビューボタン)	12、17、36
プレビュー	36
文章	
～を消去する	41
～をファイルする	60
～を編集する	40
ヘッド過熱(表示)	73
ヘッド・クリーニングキット	9、77
ヘッド・クリーニングテープ	9、77
別売品	9
 (変換/スペースボタン)	18、34
 (編集ボタン)	17、50、55
編集(記号)	88
編集	
文章を～する	40
～機能	50
～メニュー	55
～メニュー一覧	50
～を指定する	55
ボジ表示	19
保存値(環境設定)	64、66
保存値設定(環境設定)	64、67
保存値復元(環境設定)	64、67
本書の使い方	6
ま	
前(割付け)	50、53、55
前揃え(割付け)	53、55
マグネットテープ	72
密着(文字間)	50、53、55
明朝体(英数書体)	50、51
明朝体(和文書体)	50、51
 (無変換ボタン)	18、29
メニュー一覧(環境設定)	64
メニュー一覧(編集)	50
モーター異常(表示)	73

文字

～ボタン	18、29
～を削除する	41
～を挿入する	41
文字間(編集)	50、53、55
文字サイズ	14、45
～インジケータ	19、45

や

夜光ラベル	72
矢印(記号)	85
拗音	30
よこ書き	46
予定(記号)	87
余白(編集)	51、54、55
～インジケータ	19
読み	31、63
～を短くする(読み短縮)	18、31

ら

ラベル

～を作る	12、25
～を貼る	38
ラベルケース	16、37
ラベルケースフタ	16
リユース(テープカートリッジ)	4
連結(行)	44
ローマ字インジケータ	19
ローマ字変換表	90

わ

枠・表(編集)	50、52、55
～インジケータ	19
和文書体	50、51
割(割付け)	50、53、55
割付け(編集)	50、53、55
割付け(割付け)	53、55

●アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本体およびご使用中のACアダプタ・ケーブル・カートリッジ等一式と保証書をお買い上げの販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご希望により有償で修理いたします。商品をお買い上げの販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げの販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話・PHSをご使用の場合は、以下をご利用ください。

お客様相談室

東京 TEL 03-3864-1234 名古屋 TEL 052-935-4038

大阪 TEL 06-6263-1654 福岡 TEL 092-413-3977

受付時間:平日(月曜日～金曜日) 午前9時～午後5時30分

■最新情報については

「テブラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、お買い上げの販売店、または「テブラ」取扱店、または下記へお問い合わせください。

株式会社キングジム 〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

札幌 TEL 011-811-0593 名古屋 TEL 052-935-4038

仙台 TEL 022-236-4110 大阪 TEL 06-6263-1654

さいたま TEL 048-651-0198 広島 TEL 082-291-8458

本社 TEL 03-3864-1234 福岡 TEL 092-413-3977

キングジムストア(KINGJIM STORE)

<http://www.kingjim-store.jp/>

TEL 03-3864-0811

FAX 03-3864-5647

「テブラ」PRO SR130 取扱説明書

2009年 7月 第2版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

SR130

取扱説明書



・お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ネットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

受付時間: 平日(月曜日~金曜日)午前9時~午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

©2007 Printed in China PAT.03-②